

公益社団法人

全国柔道整復学校協会

会報

令和6年7月

第71号

- ◆ 役員の任期満了に伴う改選について
- ◆ 新役員挨拶
- ◆ 第66回教員研修会の開催
- ◆ 令和6年度定時総会（令和5年度事業報告及び決算報告）
- ◆ わが街の見どころ聞きどころ（河原医療福祉専門学校）
- ◆ 教員紹介リレー
（履正社国際医療スポーツ専門学校 青木孝至先生）

柔道整復学校養成施設倫理綱領

主 旨

公益社団法人全国柔道整復学校協会は、質の高い柔道整復師育成を以って国民の保健衛生の向上に寄与するため、柔道整復師養成施設（以下「学校」という）の倫理綱領を定める。

1. 学校の使命

学校は、国民の保健衛生の向上に寄与する柔道整復師を養成することを使命とし、建学の精神と理念を実践し、教育水準の維持及び質の向上に努める義務と社会的責務を全うするものとする。

2. 教育水準の維持及び質の向上

学校は、常に教員の資質の向上と教育内容の充実を図るとともに、多種多様な分野に対応し得る質の高い専門的教育を推進し、社会に求められる柔道整復師の育成に努める。

3. 自主性と他校連携

学校は、建学の精神と理念に基づき自主性をもった学校運営を行う中で、教育水準の維持及び質の向上を念頭に、他校とも連携し、社会に貢献できる柔道整復師を育成することに努める。

4. 法令等の遵守

学校は、養成施設指定規則及び指導ガイドライン並びにその他の法令を遵守すると同時に、公序良俗に違反する行為を排し、柔道整復師養成施設としての社会的責務を果たす中で、国民からの信頼と期待を得ることに努める。

5. 学校評価の推進

学校は、質の高い教育とよりよい教育環境の整備と充実を図るため、自己点検・自己評価の実施はもとより、第三者評価にも積極的に取り組み、同時にこれに基づいた情報公開を行うことで、透明性の高い学校運営に努める。

平成 29 年 12 月

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

会報



令和6年 ● 第71号

目次

頁

役員の任期満了に伴う改選について	2
新役員挨拶	4
第66回教員研修会の開催について	15
令和6年度定時総会（令和5年度事業報告及び決算報告）	17
【理事会議事録】	
・ 令和5年度第12回、令和6年度第1回、第2回	78
【委員会の状況】	
・ 教育支援委員会教科書部会	
令和6年度第1回解剖学改訂小委員会議事録、第1回外科学改訂小委員会議事録	94
・ 教育支援委員会教員研修等部会	
令和6年度第1回部会議事録	96
・ 教育支援委員会専科教員認定講習部会	
令和6年度第1回部会、第2回部会、第3回部会議事録	99
・ 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会	
令和5年度第2回部会議事録	104
・ 広報・調査委員会	
令和6年度第1回委員会議事録	106
・ 柔道委員会	
令和6年度第1回、第2回委員会議事録	109
【わが街の見どころ聞きどころ】	
・ 「～東風吹かば雨水待つ山うつろひて いよいよおもひ瀬戸のかなたへ～」 （河原医療福祉専門学校）	114
【教員紹介リレー】	
・ 履正社国際医療スポーツ専門学校 青木孝至先生	118
【各名簿】	
・ 正会員一覧、学校理事長・校長・正会員名簿、賛助会員名簿、委員（部）会員名簿	126
・ 編集後記	134
・ 学校協会案内図	

役員任期満了に伴う改選について

全国柔道整復学校協会は、6月21日に開催いたしました定時総会において役員任期満了に伴う改選を行い、下記のとりの役員体制になりましたのでお知らせいたします。

なお、役員任期は令和8年度定時総会終結時までの2年間です。

会 長 (代表理事)	谷口 和彦	学校法人明治東洋医学院 理事長
副 会 長 (代表理事)	関口 正雄	学校法人滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校 校長
理 事	齊藤 秀樹	学校法人呉竹学園 大宮呉竹医療専門学校 校長
理 事	奥田 久幸	学校法人敬心学園 日本医学柔整鍼灸専門学校 相談役
理 事	廣岡 聡	学校法人関西医療学園 関西医療学園専門学校 副校長
理 事	田中 雅博	学校法人履正社 履正社国際医療スポーツ専門学校 副校長
理 事	大麻 正晴	学校法人大麻学園 理事長
理 事	水嶋 章陽	学校法人国際志学園 理事長
理 事	伊藤 譲	学校法人日本体育大学 日本体育大学 保健医療学部 整復医療学科 教授
監 事	米田 忠正	学校法人米田学園 理事長
監 事	清水 尚道	学校法人森ノ宮医療学園 理事長 森ノ宮医療学園専門学校 校長

役員の役割分担等

会 長 (代表理事)	谷口 和彦	会長として会務を総理
副会長 (代表理事)	関口 正雄	副会長として会長を補佐
理 事	齊藤 秀樹	教育支援委員会担当理事
理 事	奥田 久幸	教育支援委員会担当理事
理 事	廣岡 聡	柔道委員会担当理事
理 事	田中 雅博	組織運営委員会担当理事
理 事	大麻 正晴	広報・調査委員会担当理事
理 事	水嶋 章陽	教育支援委員会担当理事
理 事	伊藤 譲	教育支援委員会担当理事
監 事	米田 忠正	
監 事	清水 尚道	



ご挨拶

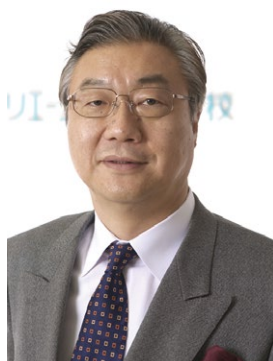
会長 谷口 和彦

〔学校法人明治東洋医学院 理事長〕

令和6年6月21日開催の定時総会において会長に再任されました。今期も続投となる関口副会長をはじめ役員、事務局スタッフのご協力を頂きながらこの重責を果たすべく努力致しますので、ご支援の程何卒宜しくお願い致します。

さて会長職も4期目を迎えました。振り返りますと平成30年の就任直後に業務の効率化を図るべく組織をスリム化したことや、デジタル教材の開発、既存教科書の改訂と新たな監修教科書の発行、専科教員認定講習会の制度改革のほか、柔道整復教育における第三者評価機関の設立サポートなど課題解決に向けスピード感をもって取組んでまいりました。今期はこれまでの集大成として公益社団法人日本柔道整復師会、公益財団法人柔道整復研修試験財団と連携しながらカリキュラム改訂を目指し、次代を担う若い世代に夢を与える柔道整復師の養成に繋げていきたいと思ひます。加えて、未だ整備されていない柔道整復学のコア・カリキュラムの構築に取組み、懸念される学校間の教育格差解消を図りたいと思ひます。

また、すでにご承知のとおり令和8年4月1日付で学校教育法の一部を改正する法律が施行されます。なお改正内容について、当会ではいずれ現実のものになるであろう共通認識のもと、第三者評価の実施に向けこれまで積極的に対応してまいりました。今後も当会は会員の皆様に有益な情報の発信に努め、社会の動きを予測し速やかに対応できる柔軟性をもった運営を目指してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



ご挨拶

副会長 関口 正雄

〔学校法人滋慶学園
東京メディカル・スポーツ専門学校 校長〕

理事・副会長に再任されました関口です。2010年（平成22年）に理事、2018年（平成30年）から副会長を務めています。振り返ってみますと、「教育の質の保証」という観点から思いがけない制度の変更があり、その対応に追われた時期もありました。しかしその後、学校協会は、自分たちを「柔道整復師養成教育の質の保証・向上を目指す学校の集まり」と自己規定し、とりわけ谷口会長のもと種々の改革に取り組んできました。

こうした改革の方向性に沿って、学校協会は、公益社団法人日本柔道整復師会及び公益財団法人柔道整復研修試験財団とともに、一般社団法人柔道整復教育評価機構を立ち上げました。学校協会会員校は2校以外皆この評価機構の会員となり、順次第三者評価を受審していただいています。

一方この間、柔道整復師国家試験に関し、一部に著しい腐敗が存在していることが、国試問題漏洩の発覚によって、養成学校にも柔道整復師界にも知らしめられました。大半の学校が誠実に教育に取り組んでいる中で、また学校協会も質の保証への取り組みを加速させている時だっただけに残念なことでした。この件への対処はまだすべて終了というわけではありません。学校協会としても一段と自らを戒め養成教育に当たるとともに、国試運営体制の健全化に対しても協力していかなければならないと思います。

改めて思いますに、柔道整復師養成教育の質が問われ、その保証・向上が求められるという事態の背景には、柔道整復師という職業の魅力、そのアイデンティティについて、学校協会および柔道整復師界団体に惹起されつつある危機感とでもいうべきものが根底にあるのではないのでしょうか。危機感の浸透は、関連諸団体の結束に繋がるのが世の習いですが、実際、経緯や思惑を超えて協調、協力への動きも現れているように感じます。

柔道整復師とその養成教育の今後の在りかた、そのアイデンティティについて、いまこの時の困惑は、実はアイデンティティを見つけだす方法の欠如であろうかと思います。諸団体が結束を強め、その方法を見出すため知恵を結集するべき時にあたり、学校協会も自らの死活問題として役割を果たすべきであると思う次第です。



理事就任にあたり

教育支援委員会担当理事

齊 藤 秀 樹

〔学校法人呉竹学園
大宮呉竹医療専門学校 校長〕

令和6年度の総会において改めて理事を拝命いたしました。

教育支援委員会の教科書部会、柔道整復国家試験模擬試験部会と特別委員会のカリキュラム改訂検討部会を担当いたします。また、一般社団法人柔道整復教育評価機構の理事を兼職いたします。

国家資格の取得を目指す教育において、教育の質保証・向上の観点からも教科書の内容は重要であり、その内容は指導要領に準拠していることはもちろんですが、教科書部会では引き続き学生の学びやすさ、教員の使いやすさ等も十分考慮し改訂作業を進めてまいります。令和6年4月に発刊いたしました『柔道』の教科書では動画が見れるように作り込み、学生がそれを視聴することで柔道のイメージがもてるようにいたしました。今年度は、『解剖学』と『外科学概論』の教科書を改訂する予定をしております。この改訂でも、電子教材のメリットが出せるよう取り組んでいきます。ICT化である電子教科書導入は柔道整復教育の今後を見据えた教育改革の一つと考えております。

平成30年度から柔道整復師学校養成施設指定規則の一部を改正する省令でカリキュラムが改められ6年が経過しました。近年、社会情勢の激しい変化とともに、柔道整復を取り巻く環境も変化しております。学生のほとんどが高等学校新卒生になっており、それに伴い学生の気質も著しい変化をしております。これらの変化に対応し国民の期待に応えられる柔道整復師を養成するためには、現実的で実践的なカリキュラムに基づく教育が必要であると考えます。また、学生が将来、柔道整復師として患者へ安心安全な施術を提供することが出来る教育も当然ながら必要となります。そこで現行のカリキュラムの問題点を検証し、学生目線で理解しやすい新たなカリキュラムを検討し、公益社団法人日本柔道整復師会と共にカリキュラムの改訂に向けた要望書を厚生労働省に提出し、協議をすすめてまいります。

会員校の皆様のご指導とご協力を賜り、国民の期待に貢献できる柔道整復師の育成に尽力してまいります。



ご 挨 拶

教育支援委員会担当理事

奥 田 久 幸

〔 学校法人敬心学園
日本医学柔整鍼灸専門学校 相談役 〕

この度、引き続き理事を拝命致しました日本医学柔整鍼灸専門学校の奥田久幸です。二期目の大役をご推挙していただいた先生方に敬意を申し上げます。

専科教員認定講習会運営委員会担当理事執行に当たり各委員の先生方や事務局の方々、そして、今年度担当願っている会員校の皆様方に大変お世話になり誠に有難うございます。お陰様で恙なく執行・運営できている事、感謝申し上げます。養成校の取り巻く環境が大きく変化する中、会員校の皆様におかれましては新たな工夫された取り組みを模索する現状です。「ゆとり世代」、「Z世代」、「さとり世代」などと学生達の傾向、それに踏まえた我々教員側がとるべき新たな対処、態度、教え方が必要となりました。彼らに対応できる年代も近い先生方の育みが急務になりつつあります。柔整業界の将来を担う学生達に希望ある未来を伝えることのできる教員の育成を第一目標として、今後講習会のあり方も検討が必要な時期にきていると感じております。

今後の講習会のあり方、運営法について広く会員校の皆様からのご意見も頂きたく宜しくお願い申し上げます。

柔整業界が右肩上がりの時代から、厳しい時代に入りつつある現状では、私たちの柔整教育も変革の時期にさしかかっていると思われます。5年後10年後を見据えた取組みが必要な時期に来ております。

「進化論」でダーウィンは「進化できないものは淘汰される」と論じております。このような時期に再度理事を仰せつかり、今後も全国柔道整復学校協会発展に少しでも貢献できますよう尽力する所存です。まだまだ新人ですのでご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



ご挨拶

柔道委員会担当理事

廣 岡 聡

〔学校法人関西医療学園
関西医療学園専門学校 副校長〕

このたび、理事職4期目を務めることとなりました。柔道委員会の担当は2期目からとなり5年目を迎えることとなりますが、就任早々は新型コロナウイルス感染症により2年連続で柔道大会の開催を見送り、担当理事として仕事ができず心を痛めておりましたが、今年度は再開後3回目の大会を迎えることができます。

その間、2021年夏に東京オリンピックが開催され、柔道競技は輝かしい成果を収め、世界に柔道にすばらしさ、日本柔道の強さを世界に示し、大きな感動を与えてくれました。

今年、2024年夏はフランスの地でパリオリンピックが開催されます。選手の更なる活躍を期待し、あの感動を再びと願っています。

学校協会の柔道大会は、新型コロナウイルス感染症により近年、養成学校は十分な柔道授業、クラブ活動ができず、柔道への取り組みに大打撃を受け、柔道経験者の入学も減り、なかなか以前の状態に戻ることができていません。

そんな中、柔道大会は試合形式を変更し運営を行わなければならない状態になっていますが、柔道は柔道整復師バックボーンであり、各養成施設は柔道を愛し、柔道への取り組みを加速させて頂き、従来の活気を取り戻したく願っています。

現在、今年度の大会を活気のあるイキイキとした大会にしたいと思い早川委員長の下、柔道委員会では大会の準備を着々と進めております。

至らぬ点は多々あると存じますが、会員校の皆様には益々のご協力、ご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



就任ごあいさつ

組織運営委員会担当理事

田 中 雅 博

〔 学校法人履正社
履正社国際医療スポーツ専門学校 副校長 〕

このたび令和6年度の総会にて、引き続き理事の職を務めることになりました。3期目も組織運営委員会を担当させていただきます。

未来の社会保障制度に大きな影響をもたらす、少子高齢社会の課題はこれまでも様々な角度で取り上げられ、解決に向けて多数の政策戦略にも反映されている事ではありますが、先の報道で今年（令和6年）の出生数が70万人を割り込む見通しであることは、社会に衝撃をもたらしました。

この事態は想定外に加速しており、目先にある2025年問題と合わせて、リハビリや機能訓練を含めた、介護施設での人材不足も大きな社会問題であります。

我々の先達者が柔道整復の知識、技術、柔道の精神を受け継ぎ、引き継いできた文化は絶対に閉ざしてはなりません。しかし一方では、社会環境の変化に対応できる適応能力を育み、生活給は無論、しっかりと稼げる接骨院、柔道整復業も継承していかなければなりません。これからは先達者だけでなく、周囲の良きアドバイザーにも耳を傾け、何を知り、何を守り、何を捨て、どう生き抜くか、これからの教育現場でも導く必要があると思います。

知識、学術、臨床、そして未来への適応能力の育成、新たな責任が発生しているのではないかと感じています。

あらためましてこれからの2年間、よろしくお願いします。



ご挨拶

広報・調査委員会担当理事

大 麻 正 晴

〔学校法人大麻学園 理事長〕

令和6年度の総会において再度理事を拝命しました、四国医療専門学校の大麻です。前期中、担当する広報・調査委員会の業務におきまして、委員及び事務局のみなさま、会員校担当者各位のご協力のおかげで各種事業を実施することができましたこと、心より御礼申し上げます。今期も引き続き広報・調査委員会を担当させていただくこととなりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

子供が将来になりたい職業といえば、医療では『医師』、『看護師』、『薬剤師』の名前があります。残念ながらそれ以外の医療職種の名はほぼありませんし、「将来、柔道整復師になりたい!」という子供は多くありません。ただ、医療職種を志す多くの人は、自分も人々の役に立ちたい、病気やケガで苦しんでいる人を助けたい、スポーツ選手をサポートしたい、と思い立って、多くの医療職種の中から自分に合った職種を選ぶことが多いかと思います。その際、柔道整復師を選んでもらうために、柔道整復=、柔道整復師=がどういうものを正しく理解されることも必要ですが、日々の様々な場所で、いろいろな問いかけに対して、

- ・スポーツトレーナーが持っている医療資格は? = 柔道整復師
- ・運動療法の専門家は? = 柔道整復師
- ・災害時の医療で活躍が期待される資格者は? = 柔道整復師
- ・からだのことをよく相談する、身近な医療技術者は? = 柔道整復師

等と、=『柔道整復師』と応えることになれば、『将来、柔道整復師になりたい!』と夢を描く人たちが増えるのではないかと考えます。今年度の学校協会教員研修会のメインテーマは、『柔道整復の新時代へ』です。今後一層、柔道整復が選ばれる医療として、柔道整復師が選ばれる職業として、業界全体で柔道整復のこれからを考える必要がありますが、我々柔道整復師を養成する教育機関においては、その質を担保しながら、教育内容を高め、柔道整復師の質を向上させていく必要があると考えます。

はなはだ微力ではありますが、役員の先生方とともに谷口会長をサポートし、広報・調査業務を通じて、『新時代の柔道整復師』養成に少しでも貢献できるよう努めてまいりたいと存じますので、何卒ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



就任ご挨拶

教育支援委員会担当理事

水 嶋 章 陽

〔学校法人国際志学園 理事長〕

このたび、令和6年度の総会にて理事職を務めることとなりました。

理事という大役をご推挙していただいた先生方に敬意と感謝を申し上げます。

私は41年前の1983年に独立・開業することを目標に大阪の行岡保健衛生学園で柔道整復学科へ進学し、柔道整復師免許取得しました。修業先の整骨院に住み込みで働きながら学校に通う日々が柔道整復師という仕事の「意義」や「やりがい」が深まり、柔整免許取得後は1987年に北九州にて湯川整骨院開業しました。父の病を機に事業拡大を決断し、1999年に北九州市内の2店舗目出店を皮切りに整骨院、整体院のネットワークを作り、現在は北部九州中心としてさまざまな事業を展開しております。

「人生100年時代」といわれるほどの超高齢化社会に突入した日本ですが、そのなかで今、重要な社会課題として浮上しているのが、国民が健康と長寿を両立しながら、幸せに暮らせる社会をいかに実現するかということです。

学校法人国際志学園グループでは発足以来、一貫してこの難しい課題を克服するためのチャレンジ「ZERO-100（ゼロヒャク）プロジェクト」に取り組んでいます。

0歳から100歳まで、すべての人の健全な身体づくりをサポートするというもので、中核となるのが「柔道整復師・生涯スポーツトレーナー」の育成だと存じております。

今までさまざまな方との出会いにより、理事を仰せつかり今後の全国柔道整復学校協会発展に少しでも貢献できますよう尽力する所存です。そうした方々から受けた恩を新しい世代につなぐという意味から、若者たちの教育にあたって『恩送り』という気持ちで取り組んでまいります。

柔道整復師の知識の普及啓発と技術の向上に寄与するとともに国民の健康や体育増進を図り、会員校の先生方のご期待に添えるよう誠心誠意がんばって参りますので引き続きご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

教育支援委員会担当理事

伊 藤 讓

〔 学校法人日本体育大学
日本体育大学 保健医療学部 整復医療学科 教授 〕

2021年9月に学識経験者として理事を拝命しました。学識経験者を自負するには勉強や経験がまだまだですが、私にできることを精一杯、そして私にしかできないことを誠実に実行していく所存です。この度の改選で改めて理事を拝命し、今期も引き続き「教員研修等部会」の担当を仰せつかりました。この部会の重要な役割の一つとして、教員の生涯教育が挙げられます。そこで、私自身の今季のテーマとして、学識経験者としての貢献、教員研修等部会の担当としての貢献を掲げたいと思います。

まず、学識経験者としての貢献は、令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）において、当学校協会の推薦を受けて「医療関係職種の養成教育における課題解決に資する研究」の研究メンバーとなり、採択されたことに基づき、柔道整復師養成教育の質の向上に寄与することです。この研究の初年度の課題は、医療者教育における遠隔授業の有用性を明らかにすることです。オンライン授業のメリットとして、移動時間・費用の効率化や学修ペースの調整が可能といったことがあります。教員のオンライン授業のスキルがオンライン授業の限界になっているという一面もあり、オンラインか対面かに関わらず、教員の教育スキルを向上するための継続的な取り組みが必要と思っています。そして、ここから発展させて、柔道整復師専科教員が教員としてどのようにキャリアを形成していくのか、この点についても模索したいと思っています。

つぎに、教員研修等部会の担当としての貢献については、教員研修会の開催方法の改革です。令和7年度以降は、これまでの主幹校への負担を大幅に軽減し、開催経費を抑制しつつも内容は充実させるという目標を定め、既に取り組みを開始しております。テーマや講師につきましても会員の皆様からのご意見をできる限り反映し、参加して良かったと思っただけの内容と運営を目指します。

会員校の皆様方におかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

監事 米田 忠正

〔学校法人米田学園 理事長〕

この度監事を拝命しました米田です。

学校協会には30有余年お世話になっております。

昔は学校の先生や警察官など社会人の入学が多く、仕事をしながら退職後に接骨院をやりたい方が大勢いらしゃって夜間部は大盛況でした。

私はその頃は勤務医の傍、授業を担当していました。

学生さんは眠い目をこすりながら1分1秒も無駄にしたいくない雰囲気だったのを記憶しています。

教える方もその熱意に答えようと一生懸命でした。

むしろ学生さんの一生懸命さに励まされました。

さて近年は状況が一変したのはご承知の通りです。

そんな中でも一部の学生さんは授業中集中して頑張っているようです。

学生さんは卒業後の自分に希望が持てれば頑張ると思います。

学校協会は養成施設の学生さんに夢を与える事も大事です。

監事として何ができるかわかりませんが精いっぱい尽力する所存です。

皆さまのご指導のほどお願い申し上げます。



ご挨拶

監事 清水 尚 道

〔 学校法人森ノ宮医療学園 理事長 〕
〔 森ノ宮医療学園専門学校 校長 〕

3期目の監事を拝命いたしました清水尚道です。

就任当初は監事という大役を、私で大丈夫だろうかと思っておりましたが、同じく監事でいらっしゃる米田先生にご指導いただき、気がつけば3期目ということになりました。しかしながら、今期も米田先生にご一緒いただけるということで、お力添えをいただきながら精一杯努めさせていただければと思っております。

谷口会長、関口副会長をはじめ、各委員会を担当される理事の先生方の業務執行が順調に進行できるよう、また新たな事務局長を迎えられた学校協会の運営の一助になれるよう監事として努力してまいる所存です。

柔道整復師を取り巻く環境、そして各養成校の課題も変化していく中、学校協会として取り組むべく案件は山積しているかと思います。会員校の皆様と、この難局を乗り越えるべく協調していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第66回教員研修会の開催について

令和6年度第66回教員研修会は、下記のプログラムの通り開催いたします。

今回の研修会は「柔道整復の新時代へ」のテーマのもと難関大受験専門塾「現論会」代表の柳生好之先生による学生の「読解力」を向上させる指導方法に関する講演をはじめとして現在の学校教育で抱えている問題点やそれに対応するための取組みに関するトピックスを多面的な視点から取り上げています。また、大学施設での開催という特色を最大限に活用し1日目の分科会においては実技を伴うテーマを2題、2日目の講演ではワークショップ形式も取り入れています。

全国柔道整復学校協会ホームページをご確認の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催にあたり各校の格別のご高配、ご協力をお願い申し上げ、多くの先生のご参加をお待ちしております。

令和6年 第66回 教員研修会プログラム（案）

メインテーマ：『柔道整復の新時代へ』

主幹校：新宿医療専門学校
会場：東京保健医療専門職大学

●研修会 1日目 令和6年9月21日（土）		
12:00	◆受付開始	敬称略
13:00	◆開会式(30分)	
	・開会の辞	公益社団法人 全国柔道整復学校協会 担当理事 伊藤 譲
	・会長挨拶	公益社団法人 全国柔道整復学校協会 会長 谷口 和彦
	・主幹校挨拶	学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 副理事長 小倉 基宏
	・来賓祝辞	公益財団法人 柔道整復研修試験財団 代表理事 今別府 敏雄
		公益社団法人 日本柔道整復師会 会長 長尾 淳彦
		一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会 会長 安田 秀喜
		一般社団法人 柔道整復教育評価機構 代表理事 関口 正雄
13:30	・役員紹介	
休憩(10分)		
13:40	◆講演A-1-1(90分) 『「読む」とはどういうことか?』	会場:1階 講堂
	講演会形式	スタディサプリ 講師 柳生 好之
	座長:	学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 永野 修
	◆講演B-1-1(90分) 『効果的な初年次教育について』(仮)	会場:6階 611大教室
	講演会形式	昭和大学歯学部歯学教育学講座、歯科理工学講座 講師 片岡 有
15:10	座長:	学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 学科長 関口 将一
休憩(15分)		

15:25	◆分科会(70分)	会場
	第1テーマ 『学び方を学ぶ』 ～入学前学生教育と明日から使える教員のための「伝える技術」～ 講演会形式 学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 山口 絢香 座長：学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 教員 春日 貴之	1階 講堂
	第2テーマ 『職場でのコミュニケーションスキルアップとそのための考え方』 講演会形式 航空会社勤務 客室乗務員チーフパーサー 阿部 希 座長：学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 教務部長 桑野 幸仁	6階 611大教室
	第3テーマ 『超音波エコーの指導方法』 実技形式 株式会社エス・エス・ビー 営業企画本部 本部長 青木 崇晶 座長：学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 教員 岩坪 弘之	5階 511治療室
	第4テーマ 『整復シミュレータで拓く柔道整復の新時代』 ～理論を実践へ、整復を数値化する～ 実技形式 株式会社フラディス 高須 勇斗 座長：学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 教員 葉山 直史	5階 513治療実習室
16:35	休憩(10分)	
16:45	◆ポスターセッション(40分)	会場：1階 ラウンジ
17:25	助成金交付発表 2題 一般公募発表 題	
●懇親会 受付18:30～ 会場:ホテルメトロポリタン エドモント		
18:30	・開会挨拶 学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 校長 小倉 芳裕	
	・来賓祝辞 公益社団法人 東京都柔道整復師会 会長 瀧澤 一裕	
	・乾杯 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 顧問 櫻井 康司	
20:30	・中締め 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監事 米田 忠正	

●研修会 2日目 令和6年9月22日(日)		
9:00	◆講演A-2-1(85分) 『教育に生かすコミュニケーション技術』 講演会形式 東京工芸大学 芸術学部長・教授 大島 武 座長：学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 校長 小倉 芳裕	会場：1階 講堂
	◆講演B-2-1(85分) 『効果的な初年次教育について』(仮) ワークショップ形式 昭和大学歯学部歯学教育学講座、歯科理工学講座 講師 片岡 有 ※講演B-1-1受講者対象 座長：学校法人小倉学園 新宿医療専門学校 学科長 関口 将一	会場：6階 611大教室
10:25	休憩(10分)	
10:35	◆講演A-2-2(85分) ①『信頼される柔道整復師養成施設とは』 ～柔道整復の未来を拓く「第三者評価」～ 柔道整復教育評価機構 理事長 関口 正雄 ②『信頼される柔道整復師の養成』 ～柔道整復師養成施設カリキュラムのスクラップ&ビルド～ 全国柔道整復学校協会 理事 斎藤 秀樹 ③『多職種連携を見据えた 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラムの必要性』 全国柔道整復学校協会 理事 伊藤 譲 座長：学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 理事長 清水 尚道	会場：1階 講堂
12:00	◆閉会式(15分) ・次年度研修会案内	
12:20	・閉会の辞 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 副会長 関口 正雄	

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

令和6年度 定時総会議事録

1. 開催日 令和6年6月21日（金）14：30～15：30

2. 会場 浜松町コンベンションホール会議室1
東京都港区浜松町二丁目3番1号日本生命浜松町クレアタワー6階
電話 03-6432-4075

3. 定足数算定の基礎となる正会員数 43名

4. 出席者

(1) 理事（正会員） 7名

谷口 和彦	明治東洋医学院専門学校	関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校
奥田 久幸	日本医学柔整鍼灸専門学校	齊藤 秀樹	東京呉竹医療専門学校
廣岡 聡	関西医療学園専門学校	田中 雅博	履正社国際医療スポーツ専門学校
大麻 正晴	四国医療専門学校		

(2) 理事（非正会員） 1名

伊藤 譲	日本体育大学保健医療学部
------	--------------

(3) 監事（正会員） 2名

米田 忠正	米田柔整専門学校	清水 尚道	森ノ宮医療学園専門学校
-------	----------	-------	-------------

(4) 正会員 14名

松岡 靖	MCL盛岡医療大学校	坂本 正憲	仙台赤門医療専門学校
平澤 淳	大川学園医療福祉専門学校	八亀俊一郎	大宮呉竹医療専門学校
櫻井 康司	日本柔道整復専門学校	永野 修	新宿医療専門学校
殿村 康一	東京医療福祉専門学校	村上 哲二	横浜呉竹医療専門学校
鈴木 康仁	専門学校浜松医療学院	清水 洋二	中和医療専門学校
北野 吉廣	平成医療学園専門学校	津島 伸章	朝日医療大学校
水野 晋悟	河原医療福祉専門学校	鈴木 信司	専門学校沖縄統合医療学院

(5) 委任状提出者 20名

高山 訓正	北海道柔道整復専門学校	島谷 夕美	仙台接骨医療専門学校
岸野 雅方	福島医療専門学校	中島 利郎	中央スポーツ医療専門学校
桑原 淳	スポーツ健康医療専門学校	千葉 茂	日本工学院八王子専門学校
増田 哲也	日本健康医療専門学校	都築 稔	関東柔道整復専門学校
瀧 将仁	アルファ医療福祉専門学校	竹本 雅信	名古屋医健スポーツ専門学校
竹本 雅信	京都医健専門学校	藤原 光	近畿医療専門学校
古谷 圭司	東洋医療専門学校	岡田 典世	関西健康科学専門学校
本廣 淳範	IGL医療福祉専門学校	藤瀬 武	福岡医療専門学校
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校	大川 照明	福岡天神医療リハビリ専門学校
水嶋 章陽	九州医療スポーツ専門学校	門司 誠一	九州医療専門学校

5. 議 長 正会員 北野 吉廣（平成医療学園専門学校）

6. 議事次第

審議事項

第1号議案 令和5年度決算報告書案の承認の件

第2号議案 役員の選任の件

7. 会議の概要

(1) 開会

議事に先立ち、進行役を務める事務局長より、定時総会の開会宣言の後、本総会の正会員出席者は23名、欠席者は20名、ただし欠席者から委任状が提出され、定款第17条に基づく総正会員の議決権の過半数（22名）以上であり、本総会は適法に成立していると報告。

続いて、谷口会長が挨拶を行った。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

事務局長が、定款第15条に基づく議長の選出について総会に諮ったところ、司会者一任とされたことから、司会者は平成医療学園専門学校の北野吉廣正会員を指名、総会は異議なく賛成し、北野正会員も議長就任を承諾した。

続いて議長より、定款第18条第2項の規定に基づき、総会に出席した正会員より選出される議事録署名人2名の選出について本総会に諮ったところ、議長一任とされたことから、横浜呉竹医療専門学校の村上哲二正会員と中和医療専門学校の清水洋二正会員の両名を指名し、本総会は2名の議事録署名人を承認、両正会員も就任を承諾した。

審議事項

第1号議案 令和5年度決算報告書案の承認の件

上記議案について、議長から事務局に対し説明を行うよう求め、事務局長は資料1に基づき、最初に審議対象外の「令和5年度事業報告」及び「令和5年度監査報告」を関連事項として説明した後、「令和5年度決算報告書案」について説明。

引き続き議長は、監事に対し監査報告について発言を求め、米田忠正、清水尚道両監事が令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の関係諸表を確認したところ、適正だったことを報告。

議長から第1号議案の質疑等の問いかけに対し、出席者から特に質疑等が出されなかったため、議長は議案について承認を諮ったところ全員意義なく、原案のとおり承認された。

第2号議案 役員の選任の件

上記議案について、議長から谷口会長に対し説明を行うよう求め、谷口会長は役員改選の理由及び役員選任に関する規程について説明。

引き続き議長は、役員選考委員会の設置について総会に諮ったところ議長一任の発言があり、議長から委員について、正会員から平澤 淳氏（大川学園医療福祉専門学校）、八亀俊一郎氏（大宮呉竹医療専門学校）、津島伸章氏（朝日医療大学校）、鈴木信司氏（専門学校沖縄統合医療学院）の4名、正会員の理事から廣岡 聡氏、大麻正晴氏の2名、正会員の監事から米田忠正氏の提案があり、これについて総会に諮ったところ了承された。

議長から選考委員に対し別室で協議するよう要請。議長は暫時休憩する旨宣言。

議長は議事を再開し、選考委員長に協議結果の報告を求め、互選された米田委員長から次の正会員及び学識経験者を理事候補者として

齊藤 秀樹氏（東京医療専門学校）
関口 正雄氏（東京メディカル・スポーツ専門学校）
奥田 久幸氏（日本医学柔整鍼灸専門学校）
廣岡 聡氏（関西医療学園専門学校）
谷口 和彦氏（明治東洋医学院専門学校）
田中 雅博氏（履正社国際医療スポーツ専門学校）
大麻 正晴氏（四国医療専門学校）
水嶋 章陽氏（九州医療スポーツ専門学校）
伊藤 譲氏（日本体育大学保健医療学部）

次の正会員を監事候補者として

米田 忠正氏（米田柔整専門学校）

清水 尚道氏（森ノ宮医療学園専門学校）

推薦する旨の選考結果を報告。

議長は、選考委員会で選考した各候補者について、挙手による採決を行うことを告げ、その結果、出席正会員の満場一致をもって承認可決された。

議事に対する審議を終了し、議長が閉会を宣言して令和6年度定時総会を終了した。

本総会の議事経過の概要を記載、その内容を明確にするため、議長及び議事録署名人2名が記名押印する。

令和6年6月21日

議長 北野吉廣 印

議事録署名人 村上哲二 印

議事録署名人 清水洋二 印

公益社団法人 全国柔道整復学校協会
令和 6 年度定時総会、会員協議会 次第

令和 6 年 6 月 2 1 日 (金)
1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
浜松町コンベンションホール
会議室 1 (6 階)

1. 定時総会

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議事

決議事項

- 第1号議案 「令和 5 年度決算報告書案の承認」 の件 … 資料1
- 第2号議案 「役員の選任」 の件 … 資料2

- (6) 閉会

2. 会員協議会

- (1) 各委員会、関連団体等報告
 - 1) 各委員会 … 資料3
 - 2) 関連団体等 … 資料4
- (2) その他

令和 6 年度定時総会

(5) 議事

決議事項

第1号議案 「令和 5 年度決算報告書案の承認」 の件

令和 5 年度決算報告書 (案)

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日



公益社団法人 全国柔道整復学校協会

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	966,082	3,436,043	△ 2,469,961
未収金	5,690	5,690	0
前払費用	40,425	26,020	14,405
未収消費税等	43,900	0	43,900
流動資産合計	1,056,097	3,467,753	△ 2,411,656
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
投資有価証券	360,371,439	369,966,439	△ 9,595,000
什器備品	4,805	5,600	△ 795
公益目的運用資金	39,592,958	39,592,958	0
専科教員認定講習会事業積立資金	0	4,000,000	△ 4,000,000
特定資産合計	399,969,202	413,564,997	△ 13,595,795
(2) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
差入保証金	2,621,696	2,621,696	0
その他固定資産合計	2,765,696	2,765,696	0
固定資産合計	402,734,898	416,330,693	△ 13,595,795
資産合計	403,790,995	419,798,446	△ 16,007,451
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,749,190	1,217,547	531,643
預り金	911,018	736,957	174,061
未払法人税等	70,000	3,398,100	△ 3,328,100
未払消費税等	0	251,300	△ 251,300
流動負債合計	2,730,208	5,603,904	△ 2,873,696
負債合計	2,730,208	5,603,904	△ 2,873,696
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	401,060,787 (399,969,202)	414,194,542 (413,564,997)	△ 13,133,755 (△ 13,595,795)
正味財産合計	401,060,787	414,194,542	△ 13,133,755
負債及び正味財産合計	403,790,995	419,798,446	△ 16,007,451

貸借対照表内訳表

令和 6年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	966,082	0	966,082
未収金	0	0	5,690	0	5,690
他会計貸付金	0	11,772,834	44,547,574	△ 56,320,408	0
前払費用	0	0	40,425	0	40,425
未収消費税等	0	0	43,900	0	43,900
流動資産合計	0	11,772,834	45,603,671	△ 56,320,408	1,056,097
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
投資有価証券	360,371,439	0	0	0	360,371,439
什器備品	4,272	0	533	0	4,805
公益目的運用資金	39,592,958	0	0	0	39,592,958
特定資産合計	399,968,669	0	533	0	399,969,202
(2) その他固定資産					
電話加入権	0	0	144,000	0	144,000
差入保証金	0	0	2,621,696	0	2,621,696
その他固定資産合計	0	0	2,765,696	0	2,765,696
固定資産合計	399,968,669	0	2,766,229	0	402,734,898
資産合計	399,968,669	11,772,834	48,369,900	△ 56,320,408	403,790,995
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	1,749,190	0	1,749,190
預り金	0	0	911,018	0	911,018
未払法人税等	0	0	70,000	0	70,000
他会計借入金	56,320,408	0	0	△ 56,320,408	0
流動負債合計	56,320,408	0	2,730,208	△ 56,320,408	2,730,208
負債合計	56,320,408	0	2,730,208	△ 56,320,408	2,730,208
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	343,648,261	11,772,834	45,639,692	0	401,060,787
(うち特定資産への充当額)	(399,968,669)	(0)	(533)	(0)	(399,969,202)
正味財産合計	343,648,261	11,772,834	45,639,692	0	401,060,787
負債及び正味財産合計	399,968,669	11,772,834	48,369,900	△ 56,320,408	403,790,995

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,590,739	1,560,184	30,555
特定資産受取利息	1,590,739	1,560,184	30,555
受取会費	29,900,000	30,846,000	△ 946,000
正会員受取会費	29,750,000	30,696,000	△ 946,000
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
事業収益	33,251,785	55,704,969	△ 22,453,184
受取監修料	25,141,785	44,814,969	△ 19,673,184
受取手数料	370,000	540,000	△ 170,000
受取受講料	7,000,000	9,600,000	△ 2,600,000
受取参加料	740,000	750,000	△ 10,000
雑収益	4,866,444	4,192,311	674,133
受取利息	719	511	208
雑収益	4,865,725	4,191,800	673,925
経常収益計	69,608,968	92,303,464	△ 22,694,496
(2) 経常費用			
事業費	64,735,274	80,277,608	△ 15,542,334
役員報酬	635,249	696,620	△ 61,371
給料手当	18,870,054	21,299,513	△ 2,429,459
福利厚生費	2,296,728	2,858,595	△ 561,867
会議費	7,434,346	1,773,635	5,660,711
広告宣伝費	176,000	176,000	0
旅費交通費	3,894,740	3,582,499	312,241
通信運搬費	869,362	1,843,029	△ 973,667
減価償却費	706	916	△ 210
消耗品費	1,567,260	2,897,513	△ 1,330,253
修繕費	0	143,000	△ 143,000
印刷製本費	2,240,516	3,949,528	△ 1,709,012
光熱水料費	230,092	320,051	△ 89,959
事務所家賃	6,696,585	6,696,581	4
賃借料	2,379,614	11,067,973	△ 8,688,359
報償費	627,024	564,684	62,340
保険料	235,128	258,316	△ 23,188
渉外費	0	50,680	△ 50,680
諸謝金	12,659,440	12,523,858	135,582
租税公課	797,611	1,673,237	△ 875,626
支払助成金	1,358,000	2,991,000	△ 1,633,000
委託費	1,296,350	4,299,007	△ 3,002,657
支払手数料	163,907	169,690	△ 5,783
雑費	306,562	441,683	△ 135,121

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	17,937,448	17,917,538	19,910
役員報酬	1,975,340	2,141,774	△ 166,434
給料手当	1,259,922	1,420,657	△ 160,735
福利厚生費	172,871	215,162	△ 42,291
会議費	724,625	433,719	290,906
旅費交通費	4,573,260	3,228,526	1,344,734
通信運搬費	44,703	53,406	△ 8,703
減価償却費	88	113	△ 25
消耗品費	88,162	85,117	3,045
修繕費	13,365	0	13,365
印刷製本費	132,055	143,844	△ 11,789
新聞図書費	20,385	14,141	6,244
光熱水料費	17,318	24,089	△ 6,771
事務所家賃	504,044	504,043	1
賃借料	1,185,890	3,580,709	△ 2,394,819
諸謝金	11,136	5,568	5,568
租税公課	22,691	40,365	△ 17,674
委託費	4,584,673	3,666,529	918,144
渉外費	356,190	184,376	171,814
支払手数料	188,648	196,914	△ 8,266
支払報酬料等	937,200	952,380	△ 15,180
諸会費	1,000,000	1,000,000	0
雑費	124,882	26,106	98,776
経常費用計	82,672,722	98,195,146	△ 15,522,424
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,063,754	△ 5,891,682	△ 7,172,072
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,063,754	△ 5,891,682	△ 7,172,072
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 13,063,755	△ 5,891,682	△ 7,172,073
法人税、住民税及び事業税	70,000	3,398,100	△ 3,328,100
当期一般正味財産増減額	△ 13,133,755	△ 9,289,782	△ 3,843,973
一般正味財産期首残高	414,194,542	423,484,324	△ 9,289,782
一般正味財産期末残高	401,060,787	414,194,542	△ 13,133,755
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	401,060,787	414,194,542	△ 13,133,755

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引等消去	合計
	公1普及啓発	小計	収1収益	他1会員相互扶助	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	1,590,739	1,590,739	0	0	0	0	0	0	1,590,739
特定資産受取利息	1,590,739	1,590,739	0	0	0	0	0	0	1,590,739
受取会費	6,180,068	6,180,068	0	6,825,928	0	6,825,928	16,894,004	0	29,900,000
正会員受取会費	6,105,068	6,105,068	0	6,810,928	0	6,810,928	16,834,004	0	29,750,000
賛助会員受取会費	75,000	75,000	0	15,000	0	15,000	60,000	0	150,000
事業収益	8,110,000	8,110,000	25,141,785	0	0	25,141,785	0	0	33,251,785
受取監修料	0	0	25,141,785	0	0	25,141,785	0	0	25,141,785
受取手数料	370,000	370,000	0	0	0	0	0	0	370,000
受取受講料	7,000,000	7,000,000	0	0	0	0	0	0	7,000,000
受取参加料	740,000	740,000	0	0	0	0	0	0	740,000
雑収益	3,823,000	3,823,000	0	0	0	0	1,043,444	0	4,866,444
受取利息	0	0	0	0	0	0	719	0	719
雑収益	3,823,000	3,823,000	0	0	0	0	1,042,725	0	4,865,725
経常収益計	19,703,807	19,703,807	25,141,785	6,825,928	0	31,967,713	17,937,448	0	69,608,968
(2) 経常費用									
事業費	54,580,370	54,580,370	3,328,976	6,825,928	0	10,154,904	0	0	64,735,274
役員報酬	402,888	402,888	209,405	22,956	0	232,361	0	0	635,249
給料手当	15,499,792	15,499,792	720,205	2,650,057	0	3,370,262	0	0	18,870,054
福利厚生費	1,926,291	1,926,291	24,695	345,742	0	370,437	0	0	2,296,728
会議費	7,406,146	7,406,146	28,200	0	0	28,200	0	0	7,434,346
広告宣伝費	176,000	176,000	0	0	0	0	0	0	176,000
旅費交通費	2,078,771	2,078,771	1,618,399	197,570	0	1,815,969	0	0	3,894,740
通信運搬費	720,646	720,646	6,986	141,730	0	148,716	0	0	869,362
減価償却費	706	706	0	0	0	0	0	0	706
消耗品費	1,378,342	1,378,342	12,594	176,324	0	188,918	0	0	1,567,260
印刷製本費	978,266	978,266	0	1,262,250	0	1,262,250	0	0	2,240,516
光熱水料費	192,982	192,982	2,474	34,636	0	37,110	0	0	230,092
事務所家賃	5,616,491	5,616,491	72,006	1,008,088	0	1,080,094	0	0	6,696,585
賃借料	2,379,614	2,379,614	0	0	0	0	0	0	2,379,614
報償費	607,024	607,024	0	20,000	0	20,000	0	0	627,024
保険料	235,128	235,128	0	0	0	0	0	0	235,128
諸謝金	12,592,624	12,592,624	66,816	0	0	66,816	0	0	12,659,440
租税公課	259,804	259,804	537,807	0	0	537,807	0	0	797,611
支払助成金	1,358,000	1,358,000	0	0	0	0	0	0	1,358,000
委託費	341,000	341,000	0	955,350	0	955,350	0	0	1,296,350
支払手数料	123,293	123,293	29,389	11,225	0	40,614	0	0	163,907
雑費	306,562	306,562	0	0	0	0	0	0	306,562
管理費	0	0	0	0	0	0	17,937,448	0	17,937,448
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,975,340	0	1,975,340
給料手当	0	0	0	0	0	0	1,259,922	0	1,259,922
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	172,871	0	172,871
会議費	0	0	0	0	0	0	724,625	0	724,625
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	4,573,260	0	4,573,260
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	44,703	0	44,703
減価償却費	0	0	0	0	0	0	88	0	88
消耗品費	0	0	0	0	0	0	88,162	0	88,162
修繕費	0	0	0	0	0	0	13,365	0	13,365
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	132,055	0	132,055
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	20,385	0	20,385
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	17,318	0	17,318
事務所家賃	0	0	0	0	0	0	504,044	0	504,044
賃借料	0	0	0	0	0	0	1,185,890	0	1,185,890
諸謝金	0	0	0	0	0	0	11,136	0	11,136
租税公課	0	0	0	0	0	0	22,691	0	22,691
委託費	0	0	0	0	0	0	4,584,673	0	4,584,673
渉外費	0	0	0	0	0	0	356,190	0	356,190
支払手数料	0	0	0	0	0	0	188,648	0	188,648
支払報酬料等	0	0	0	0	0	0	937,200	0	937,200
諸会費	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
雑費	0	0	0	0	0	0	124,882	0	124,882
経常費用計	54,580,370	54,580,370	3,328,976	6,825,928	0	10,154,904	17,937,448	0	82,672,722
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 34,876,563	△ 34,876,563	21,812,809	0	0	21,812,809	0	0	△ 13,063,754
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 34,876,563	△ 34,876,563	21,812,809	0	0	21,812,809	0	0	△ 13,063,754
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	1	1	0	0	0	0	0	0	1
経常外費用計	1	1	0	0	0	0	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 34,876,564	△ 34,876,564	21,812,809	0	0	21,812,809	0	0	△ 13,063,755
他会計振替額	20,875,857	20,875,857	△ 20,875,857	0	0	△ 20,875,857	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 14,000,707	△ 14,000,707	936,952	0	0	936,952	0	0	△ 13,063,755
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 14,000,707	△ 14,000,707	936,952	0	0	936,952	△ 70,000	0	△ 13,133,755
一般正味財産期首残高	357,648,968	357,648,968	34,519,636	△ 45,501,067	21,817,313	10,835,882	45,709,692	0	414,194,542
一般正味財産期末残高	343,648,261	343,648,261	35,456,588	△ 45,501,067	21,817,313	11,772,834	45,639,692	0	401,060,787
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	343,648,261	343,648,261	35,456,588	△ 45,501,067	21,817,313	11,772,834	45,639,692	0	401,060,787

財務諸表に対する注記

公益社団法人全国柔道整復学校協会

1. 重要な会計方針

- (1) 満期保有目的の債権については償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法によっている。
- (3) リース物件については、通常の賃貸借取引による会計処理を適用している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
投資有価証券	369,966,439	100,405,000	110,000,000	360,371,439
什器備品	5,600	0	795	4,805
公益目的運用資金	39,592,958	0	0	39,592,958
専科教員認定講習会事業積立資金	4,000,000	0	4,000,000	0
小 計	413,564,997	100,405,000	114,000,795	399,969,202
合 計	413,564,997	100,405,000	114,000,795	399,969,202

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
投資有価証券	360,371,439	(0)	(360,371,439)	(0)
什器備品	4,805	(0)	(4,805)	(0)
公益目的運用資金	39,592,958	(0)	(39,592,958)	(0)
小 計	399,969,202	(0)	(399,969,202)	(0)
合 計	399,969,202	(0)	(399,969,202)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	481,507	476,702	4,805
合 計	481,507	476,702	4,805

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第231回・日本高速道路保有・債務返済機構	100,000,000	100,257,300	257,300
神奈川県第252回公募公債	60,371,439	58,232,760	△ 2,138,679
第70回日本学生支援債券	100,000,000	99,942,300	△ 57,700
第72回日本学生支援債券	100,000,000	99,780,000	△ 220,000
合 計	360,371,439	358,212,360	△ 2,159,079

附属明細書

公益社団法人全国柔道整復学校協会

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため、附属明細書での記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

令和 6年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金	普通預金		457,842
		みずほ銀行	運転資金として	32,026
		浜松町支店		
		ゆうちょ銀行	運転資金として	379,352
	未収金	三井住友銀行/浜松町支店		46,464
		郵便振替口座	運転資金として	508,240
		その他	その他	5,690
	前払費用	柔道大会他	会場予納金他	40,425
	未収消費税等	税務署	消費税還付額	43,900
流動資産合計				1,056,097
(固定資産) 特定資産	投資有価証券	第231回・日本高速道路保有・債務返済機構債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	360,371,439
		神奈川県第252回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	100,000,000
		第70回日本学生支援債券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	60,371,439
		第72回日本学生支援債券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
	什器備品	パソコン	事務所で使用しているパソコンである。	4,805
		備品、金庫	共用財産であり、うち88.9%は公益目的保有財産として公1事業の用に供し、11.1%は管理運営の用に供している。	1
	公益目的運用資金			4,804
		三井住友銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	39,592,958
		浜松町支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	38,420,374
		未収金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	1,172,584
	その他固定資産			
		電話加入権	事務所で使用している電話の加入権である。	144,000
	差入保証金	東京都港区浜松町1-6-2 丸神ビル1階	事務所の保証金	2,621,696
固定資産合計				402,734,898
資産合計				403,790,995
(流動負債)	未払金	NTT等	経費未払金	1,749,190
		専科認定講習会	その他	1,743,042
	預り金	源泉所得税	委員等から徴収した源泉所得税の預り分	6,148
		社会保険料	職員から徴収した社会保険料の預り分	911,018
		税務署	謝金に対する源泉所得税預かり分	4,565
		税務署	職員等から徴収した源泉所得税の預かり分	331,802
		税務署	士業に対する源泉所得税預かり分	568
		その他	その他	60,510
		税務署	法人税等の未払額	3,573
	未払法人税等			510,000
				70,000
流動負債合計				2,730,208
負債合計				2,730,208
正味財産				401,060,787

令和 5 年度事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日



公益社団法人 全国柔道整復学校協会

第1 会務報告

令和5年度 公益社団法人全国柔道整復学校協会役員の運営体制	
役 員	会長 谷口 和彦 副会長 関口 正雄 理事 齊藤 秀樹、奥田 久幸、廣岡 聡、田中 雅博 大麻 正晴、伊藤 譲 監事 米田 忠正、清水 尚道
顧 問	櫻井 康司、坂本 歩、武田 秀孝、碓井 貞成、坂本 正憲

委員(部)会名	担当理事	委員(部会)長・副委員(部会)長
常設委員会		
教育支援委員会		
教科書部会	齊藤 秀樹	部会長 三澤 圭吾(明治東洋医学院) 副部会長 村澤 幸弘(呉竹医療)
教員研修等部会	伊藤 譲	部会長 葉山 直史(森ノ宮医療学園) 副部会長 桑野 幸仁(九州医療スポーツ)
専科教員認定講習部会	奥田 久幸 伊藤 譲	部会長 川口 央修(呉竹医療) 副部会長 北野 吉廣(平成医療学園)
柔道整復師国家試験模擬試験部会	齊藤 秀樹	部会長 杉山 直人(東京医療) 副部会長 秋津 知宏(明治東洋医学院) 副部会長 稲岡 隆輔(滋慶学園グループ)
広報・調査委員会	大麻 正晴	委員長 廣木 智(東京医療) 副委員長 鹿庭 祥平(四国医療)
柔道委員会	廣岡 聡	委員長 早川 幸秀(東京医療) 副委員長 湊谷 知幹(京都医健)
組織運営委員会	田中 雅博	委員長 藤井 義巳(明治東洋医学院) 副委員長 辻井 宏昭(履正社国際医療)

兼 職	公益財団法人柔道整復研修試験財団	評議員 谷口 和彦 業務執行理事 関口 正雄 理事 大麻 正晴
	一般社団法人日本柔道接整復骨医学会	副会長 坂本 歩
	一般社団法人柔道整復教育評価機構	理事長 関口 正雄 理事 齊藤 秀樹 監事 米田 忠正 監事 清水 尚道

行事開催年月日	行 事 内 容 等
令和5年	
4月 3日 (月)	会員校入学式に会長名祝電(45校)
10日 (月)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第1回会議:学校協会等
18日 (火)	広報・調査委員会 第1回会議:学校協会等
20日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 第1回会議:学校協会等
21日 (金)	第1回理事会:学校協会等
24日 (月)	柔道委員会 第1回会議:学校協会
25日 (火)	教育支援委員会教科書部会・柔道委員会打合せ:講道館
28日 (金)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議:キャンパスプラザ京都
5月 11日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
12日 (金)	会計監査(令和4年度):学校協会
14日 (日)	専科教員認定講習会受講試験:日本医学柔整鍼灸専門学校、森ノ宮医療学園専門学校
16日 (火)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第2回会議:学校協会
17日 (水)	専科教員認定講習会受講試験合格発表:学校協会HP
18日 (木)	教育支援委員会教科書部会・柔道委員会打合せ:学校協会
19日 (金)	第2回理事会:学校協会等
25日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議:学校協会
29日 (月)	柔道委員会「柔道」教科書打合せ:講道館、第2回会議:学校協会
6月 3日 (土)	専科教員認定講習会東日本会場開講式:日本医学柔整鍼灸専門学校
10日 (土)	専科教員認定講習会西日本会場開講式:森ノ宮医療学園専門学校
14日 (水)	組織運営委員会 第1回会議:学校協会等
15日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
16日 (金)	第3回理事会:浜松町コンベンションホール 定時総会、会員協議会:浜松町コンベンションホール
22日 (木)	教育支援委員会教員研修等部会 第1回会議:学校協会等
27日 (火)	柔道委員会 第3回会議:学校協会
7月 5日 (水)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議:キャンパスプラザ京都
18日 (火)	広報・調査委員会 第2回会議:学校協会等
20日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
21日 (金)	第4回理事会:学校協会
27日 (木)	柔道委員会 第4回会議:学校協会
8月 7日 (月)	柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会:学校協会
8日 (火)	令和5年度学校運営改善等事業研究助成審査委員会:学校協会
18日 (金)	厚生労働省医事課試験免許室長との打合せ:学校協会

行事開催年月日		行 事 内 容 等
8月	18日 (金)	第5回理事会:学校協会
	31日 (木)	第56回柔道大会:東京武道館
9月	3日 (日)	臨床実習指導者講習会:専門学校沖縄統合医療学院(、9月10日(日))
	4日 (月)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第3回会議:学校協会 日本柔道整復師会会長、副会長との打合せ:日整会館
	7日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:キャンパスプラザ京都
	8日 (金)	柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会:学校協会等
	9日 (土)	臨床実習指導者講習会:福島医療専門学校(～9月10日(日))
	14日 (木)	教育支援委員会教科書部会 第1回会議:学校協会等
	15日 (金)	全国柔道整復師統合協議会代表他との打合せ:学校協会 第6回理事会:学校協会等
	17日 (日)	臨床実習指導者講習会:日本工学院八王子医療専門学校(～9月18日(月・祝))
	21日 (木)	柔道委員会 第5回会議:学校協会
	23日 (土)	第65回教員研修会:リーガロイヤルホテル小倉(～9月24日(日)) 臨床実習指導者講習会:東京医療福祉専門学校(～9月24日(日))
	26日 (火)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議:学校協会
	30日 (土)	専科教員認定講習会東日本会場修了試験:日本医学柔整鍼灸専門学校
10月	1日 (日)	専科教員認定講習会西日本会場修了試験:森ノ宮医療学園専門学校
	3日 (火)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第4回会議:学校協会等
	12日 (木)	柔道整復試験財団代表理事、日本柔道整復師会会長との打合せ:日整会館
	14日 (土)	専科教員認定講習会東日本会場閉講式:日本医学柔整鍼灸専門学校
	17日 (火)	広報・調査委員会 第3回会議:学校協会等
	19日 (金)	第7回理事会:伊香保 福一(渋川市)等
	21日 (土)	専科教員認定講習会西日本会場閉講式:森ノ宮医療学園専門学校
	24日 (火)	教育支援委員会教員研修等部会 第2回会議:学校協会等
	28日 (土)	臨床実習指導者講習会:東京医療専門学校(～10月29日(日)) 臨床実習指導者講習会:九州医療スポーツ専門学校(～10月29日(日))
	31日 (火)	教育支援委員会教科書部会・柔道委員会打合せ:学校協会
11月	14日 (火)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第5回会議:学校協会等 厚生労働省医事課との打合せ(次期カリキュラム改訂):学校協会
	17日 (金)	第8回理事会:学校協会等
	21日 (火)	教育支援委員会教科書部会 第2回会議:学校協会
12月	2日 (土)	全国柔道整復学校協会統一模擬試験実施(～12月17日(日))
	5日 (火)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:キャンパスプラザ京都
	14日 (木)	専科教員認定講習会主幹校協力校担当者会議(東日本会場):学校協会
	15日 (金)	第9回理事会、会員協議会:学校協会等

行事開催年月日		行 事 内 容 等
12月	16日 (土)	臨床実習指導者講習会:東京メディカル・スポーツ専門学校(～12月17日(日))
	19日 (火)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議:学校協会
	21日 (木)	専科教員認定講習会主幹校協力校担当学会議(西日本会場):学校協会
令和6年		
1月	14日 (日)	臨床実習指導者講習会:京都医健専門学校(、1月21日(日))
	15日 (月)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第6回会議:学校協会
	16日 (火)	広報・調査委員会 第4回会議:学校協会等
	18日 (木)	次期カリキュラム改訂要望厚生労働省医事課説明:厚生労働省
	19日 (金)	第10回理事会:学校協会等
	25日 (木)	専科教員認定講習会主幹校協力校担当学会議(東日本会場):学校協会
	28日 (日)	臨床実習指導者講習会:専門学校浜松医療学院(、2月4日(日))
2月	2日 (金)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
	8日 (木)	教科書部会担当理事他監修教科書改訂の件で(株)南江堂訪問
	11日 (日)	臨床実習指導者講習会:朝日医療大学校(～2月12日(月・祝))
	13日 (火)	教科書部会担当理事他監修教科書改訂の件で医歯薬出版(株)訪問
	15日 (木)	教育支援委員会教員研修等部会 第3回会議:学校協会等
	16日 (金)	第11回理事会:学校協会等
3月	1日 (金)	会員校卒業式に会長名祝電(45校) 教育支援委員会教科書部会 第3会議:学校協会等
	3日 (日)	第32回柔道整復師国家試験期日
	6日 (水)	第32回柔道整復師国家試験疑義問題検討会:学校協会
	8日 (金)	第32回柔道整復師国家試験疑義問題に関する要望書提出:柔道整復研修試験財団
	12日 (火)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
	14日 (木)	教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 第2回会議:学校協会等
	15日 (金)	第12回理事会:浜松町コンベンションホール 会員協議会:浜松町コンベンションホール 日本柔道整復師会役員との意見交換会:浜松町コンベンションホール
	26日 (火)	第32回柔道整復師国家試験合格発表

第2 会議等

(1)総会

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
定時総会	令和5年6月16日(金) 14:30～15:15 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー6階	(議案) 1.令和4年度決算報告書案の承認の件	理事8名(内正会員7名) 監事2名(内正会員2名) 正会員12名 委任状22名

(2)会員協議会

	開催日時・場所	内 容
第1回	令和5年6月16日(金) 定時総会終了後	1.報告事項 1)各委員会 2)関連団体等 3)私立学校法の改正の件 4)障害者差別解消法の件
第2回	令和5年12月15日(金) 15:30～16:45 拠点会場:学校協会(Zoom)	1.報告事項 1)次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2)学校教育法改正の件 3)各委員会 4)関連団体等
第3回	令和6年3月15日(金) 14:30～16:30 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー6階	1.報告事項 1)次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2)第32回柔道整復師国家試験問題に関する意見書の件 3)令和6年度事業計画、収支予算の件 4)各委員会 5)関連団体等

(3)理事会

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第1回理事会	令和5年4月21日(金) 13:50～16:15 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.専科教員認定講習会の運営の件 2.諸規程(専科教員認定講習会実施規程)の改正の件 3.委員会委員人事の件 4.国家試験問題漏洩に関する学校協会対応の件(報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名

第2回理事会	令和5年5月19日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.令和4年度事業報告書の承認の件 2.令和4年度決算報告書案の件 3.特定費用準備資金の設定の件 4.定時総会の開催の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第3回理事会	令和5年6月16日(金) 12:10～13:00 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー	(議案) 1.定時総会の運営の件 2.柔道大会規程の改正の件 3.緊急連絡先情報(専科教員認定講習会)の取得の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.その他	理事 8名 監事 2名
第4回理事会	令和5年7月21日(金) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.柔道整復研修試験財団再発防止委員会報告書の件 2.全国柔道整復師統合協議会要望書の件 3.年会費減免願いの件 4.研究助成取扱規程、同細則、研究課題評価基準の件 5.特定資産運用の件 6.日本柔道整復接骨医学会学術大会シンポジウム共同開催の件 7.第66回教員研修会(新宿医療)講師候補の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第5回理事会	令和5年8月18日(金) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.柔道整復研修試験財団再発防止委員会報告書の件 2.柔道整復師法施行令の一部を改正する政令案に関するパブリックコメント募集の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名

第6回理事会	令和5年9月15日(金) 14:00～16:10 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.柔道整復研修試験財団に対する対応の件 3.委員会委員人事の件 4.来年度教員研修会の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第7回理事会	令和5年10月19日(金) 15:00～17:00 伊香保 福一(Zoom併用) 群馬県渋川市伊香保町伊香保香湯5-4	(議案) 1.来年度専科教員認定講習会主幹校・協力校選定の件 2.柔道整復研修試験財団に対する対応の件 3.今年度(下半期)理事会等開催日程の件 4.委員会担当理事選任の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第8回理事会	令和5年11月17日(金) 13:50～15:40 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.委員会委員候補者(柔道整復研修試験財団)推薦の件 3.次年度専科教員認定講習会受講資格の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 1名
第9回理事会	令和5年12月15日(金) 13:30～14:45 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.委員会委員人事の件 3.専科教員認定講習会実施規程改正の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名

第10回理事会	令和6年1月19日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.全国柔道整復師統合協議会との継続した意見交換実施の件 3.専科教員認定講習会実施規程改正の件 4.令和6年度厚生労働科学研究費補助金研究事業公募の件 5.令和6年能登半島地震による災害見舞金支給の件 6.「柔道整復」記念碑建立募金協力依頼の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第11回理事会	令和6年2月16日(金) 13:55～16:08 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.令和6年度事業計画、収支予算の件 3.第 66 回教員研修会(非会員校会費、本部企画)の件 4.教員研修会主幹校アンケート調査の件 5.国家試験模擬試験事業の件 6.日本柔道整復接骨医学会理事候補者推薦依頼の件 7.臨時総会等開催の件 8.事務局長人事の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第12回理事会	令和6年3月15日(金) 12:00～13:37 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.令和6年度理事会等開催日程の件 3.嘉納治五郎アニメ化プロジェクト後援の件 4.日本柔道整復接骨医学会理事候補者推薦依頼の件 5.柔道整復研修試験財団理事候補者等推薦依頼の件 6.その他 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.その他	理事 7名 監事 2名

(4) 会計監査

谷口会長立ち合いの上、令和5年5月12日(金)に米田及び清水両監事による令和4年度会計監査を実施。

(5) 第31回柔道整復師国家試験疑義問題検討会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年3月6日(水) 11:00～13:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 第32回柔道整復師国家試験における疑義問題に関する検討	谷口会長他4名

(6) 柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年4月28日(金) 14:00～15:50 キャンパスプラザ京都 京都府京都市下京区東塩小路町939	1. 次期カリキュラム改訂に向けた事案検討	学校協会3名 日本柔道整復師会 2名
令和5年5月25日(木) 15:50～17:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 次期カリキュラム改訂に向けた事案検討	学校協会3名 日本柔道整復師会 2名
令和5年7月5日(木) 14:00～16:00 キャンパスプラザ京都 京都府京都市下京区東塩小路町939	1. 次期カリキュラム改訂に向けた事案検討	学校協会3名 日本柔道整復師会 2名
令和5年9月26日(火) 14:00～15:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 次期カリキュラム改訂に向けた事案検討	学校協会3名 日本柔道整復師会 2名
令和5年12月19日(火) 13:50～15:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会開催 要望の件	学校協会3名 日本柔道整復師会 3名
上記会議開催の他、以下の作業部会を設置、適宜開催・検討を行った。 カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会: 齊藤理事担当 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会: 伊藤理事担当		

第3 委員会

(1) 教育支援委員会教科書部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年9月14日(金) 14:00～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.柔道教科書の初稿について 2.その他(今後の教科書の改訂の方向性について)	谷口会長、理事1名 部員9名
令和5年11月21日(火) 14:00～15:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.今後の学校協会監修教科書の教科書部会における取り扱いについて	理事1名 部員11名
令和6年3月1日(金) 15:00～16:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度の教科書改訂 について	谷口会長、理事1名 部員10名
上記部会開催の他 「柔道」教科書作成のため柔道委員会等関係者との打合せ等を実施。 ・4月25日(火) 教科書部会・柔道委員会合同打合せ:講道館 ・5月18日(木) 教科書部会・柔道委員会合同打合せ:学校協会 ・5月29日(月) 柔道委員会との打合せ:講道館 ・8月2日(火) 柔道委員会との打合せ:学校協会 ・10月31日(火) 教科書部会・柔道委員会合同打合せ:学校協会 学校協会監修の教科書を維持していくことを前提とし改定作業を依頼。 ・2月8日(木) 担当理事、副部会長が株式会社南江堂訪問 ・2月13日(火) 担当理事、副部会長が医歯薬出版株式会社訪問		

(2) 教育支援委員会教員研修等部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年6月22日(木) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和5年度教員研修会(第65回北九州)について 2.令和6年度教員研修会(第65回東京)について 3.研究助成事業について 4.その他	理事1名 部員8名
令和5年10月24日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和5年度教員研修会(第65回北九州)について 2.令和6年度教員研修会(第65回東京)について 3.その他	理事1名 部員9名
令和6年2月15日(木) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度教員研修会(第65回東京)について 2.今後の教員研修会主幹校選出について 3.その他	理事1名 部員8名

上記部会開催の他

学校運営改善等助成事業助成金に係る研修助成審査委員会を開催した。

1.日 時 令和5年8月8日(火)14:00～15:50

2.場 所 学校協会

3.出席者 関口委員長他4名

(3)教育支援委員会専科教員認定講習部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年4月10日(月) 14:00～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.受講試験問題の策定について 2.受講資格について 3.受講試験運営マニュアルについて 4.その他	理事1名 部会長、副部会長
令和5年5月16日(火) 14:00～15:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.受講試験の可否判定について 2.その他	関口副会長 理事2名 部会長、副部会長
令和5年9月4日(月) 14:00～17:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.東京会場の修了試験問題および追再試験問題について 2.大阪会場の修了試験問題および追再試験問題について	理事1名 部会長、副部会長
令和5年10月3日(火) 13:00～15:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.修了試験可否判定について 2.その他	関口副会長 理事1名 部会長、副部会長
令和5年11月14日(火) 14:00～15:40 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.次年度の専科教員認定講習会について 2.今後の事業内容について 3.専科教員認定講習部会のスケジュールについて 4.その他	谷口会長 理事2名 部会長、副部会長 他5名
令和5年1月15日(月) 14:00～15:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.受講試験問題作成の割り振りについて 2.次年度の委員会の日程について 3.その他	理事1名 部会長、副部会長

(4)教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年4月20日(木) 16:00～17:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和4年度実施報告 2.令和5年度実施計画の検討 3.その他	谷口会長 理事1名 部員10名

令和6年3月14日(木) 14:00～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和5年度実施報告 2.令和6年度実施計画の検討 3.その他	理事1名 部員8名
--	--	--------------

(5) 広報・調査委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年4月18日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.前回委員会議事録の確認 2.広報業務について 3.調査業務について 4.その他	理事1名 委員9名
令和5年7月18日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.前回委員会議事録の確認 2.広報業務について 3.調査業務について 4.その他	理事1名 委員9名
令和5年10月17日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.前回委員会議事録の確認 2.調査業務について 3.調査業務について 4.その他	理事1名 委員8名
令和6年1月16日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.前回委員会議事録の確認 2.調査業務について 3.調査業務について 4.その他	理事1名 委員9名

(6) 柔道委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年4月24日(月) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.大会形式について 2.大会係員分担について 3.その他	委員6名
令和5年5月29日(月) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.大会準備について 2.大会運営について 3.その他	理事1名 委員6名
令和5年6月27日(火) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.組合せ抽選 2.大会準備について 3.大会運営について 4.その他	委員6名
令和5年7月27日(木) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.大会準備について 2.大会運営について 3.その他	理事1名 委員6名

令和5年9月21日(木) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.柔道大会反省 2.今後の検討課題について 3.次年度計画について 4.その他	理事1名 委員6名
--	---	--------------

(7)組織運営委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和5年6月14日(水) 13:30～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.会員校名簿の作成について 2.研修会(年3回程度)の開催について 3.その他	理事1名 委員6名

I 公益事業

1. 「柔道整復師専科教員認定講習会を実施し、柔道整復師の知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 専科教員認定講習会

専科教員認定講習会は、柔道整復師学校養成施設指定規則(昭和47年文部省・厚生省令第2号)第2条第6号及び別表第2の規定に基づく厚生労働大臣指定の講習会であり、受講者は一定の教科について同講習会を修了した者には教員資格が与えられる。

平成14年度には、専科教員認定講習会の抜本的改正を施行して、受講試験及び修了試験等を実施することとし、更なる教員の資質の向上と計画性のある養成を図り今日に至っている。

その後、専科教員認定講習会のカリキュラムに係る、

- ・柔道整復師養成施設指定規則ならびに国家試験出題基準と合致していない。
- ・一般的な教育実習と専科教員認定講習会のカリキュラムの教育実習との実施方法にも乖離がある。
- ・次のカリキュラム改定では履修時間数は上限(看護師を参考)と考えられるが、その時間内で最大4単位(PTの8単位を参考)までの臨床実習が組み込まれる可能性はある。
- ・コロナ禍の終息に見通しが立たない中で、対面形式の講義は実施が困難な可能性も鑑みて、専科教員認定講習会の実施にもWebなどを活用した方式や、グループワークの実施なども検討しておく必要がある。

等の問題点を解消するため、教育支援委員会専科教員認定講習部会でカリキュラム改定案を協議・構築し、理事会の議を経て令和3年度の講習会から実施することとなった。

令和5年度は、東日本会場(東京)及び西日本会場(大阪)の2か所で開催した。その実施概要は次のとおりである。

令和5年度専科教員認定講習会実施概要

区分	東日本会場(東京)	西日本会場(大阪)
1) 期間	自 令和5年 6月 3日(土) 至 令和5年10月14日(土)	自 令和5年 6月10日(土) 至 令和5年10月21日(土)
2) 時間	6月4日 14:00～20:00 土曜日 13:30～20:00 日曜日・祝祭日 9:30～16:40	6月10日 14:00～20:00 土曜日 13:30～20:00 日曜日・祝祭日 9:00～16:10
3) 主幹校	日本医学柔整鍼灸専門学校 (協力校) 日本柔道整復専門学校 東京メディカル・スポーツ専門学校	森ノ宮医療学園専門学校 (協力校) 平成医療学園専門学校 明治東洋医学院専門学校
4) 会場	日本医学柔整鍼灸専門学校	森ノ宮医療学園専門学校
5) 開講式	令和5年 6月 3日(土) 日本医学柔整鍼灸専門学校	令和5年 6月10日(土) 森ノ宮医療学園専門学校
6) 受講者	17名	18名

区分	東日本会場(東京)	西日本会場(大阪)
7)修了者	17名	18名
8)閉講式	令和5年10月14日(土) 日本医学柔整鍼灸専門学校	令和5年10月21日(土) 森ノ宮医療学園専門学校

2. 「研修会の実施を通じて柔道整復に関する知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 教員研修会(第65回)

会員校の教職員及び教員資格所有者を対象に研究発表、シンポジウムなどを行うことにより相互研鑽及び資質の向上を図ることを目的として、毎年、教員研修会を開催している。

- (1) 日 時 令和5年9月23日(土・祝)、24日(日)
- (2) 会 場 リーガロイヤルホテル小倉
- (3) 主 催 公益社団法人 全国柔道整復学校協会
- (4) 後 援 厚生労働省
- (5) 協 賛 公益財団法人 柔道整復研修試験財団
公益社団法人 日本柔道整復師会
一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会
一般社団法人 柔道整復教育評価機構
公益社団法人 福岡県柔道整復師会
北九州市
公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
- (6) 主幹校 九州医療スポーツ専門学校
- (7) 参加者 335名(会員校281名、非会員校54名)

(8) 研修会

1 日 目

- 講演1 『人体のカタチを味わう喜び～VR/AR技術を活用した教育実践～』
講演者 本間 典子(国立看護大学校生命科学教授)
座 長 北野 吉廣(学校法人平成医療学園平成医療学園専門学校校長)

○ 分科会

第1テーマ 『学習の困難な基礎医学が先端技術を使ったら克服できる？～VR機器を使った授業を提案～』

- 講演者 小林 英一(学校法人敬心学園職業教育研究開発センター研究員)
座 長 四宮 英雄(学校法人大麻学園四国医療専門学校柔道整復学科教員)

第2テーマ 『骨折・脱臼・疾患の実際～動画で学ぶ柔道整復術～』

- 講演者 宮越 亮典(学校法人森ノ宮医療学園森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師 / 宮越接骨院・鍼灸院)
座 長 葉山 直史(学校法人森ノ宮医療学園森ノ宮医療学園専門学校教員)

第3テーマ 『経験したことのない徒手整復を教える？教えない？
～3Dアプリによる発生機転の理解からシミュレーターを用いた実技教育へ～』

講演者 伊藤 譲(日本体育大学保健医療学部整復医療学科教授)

座 長 本澤 光則(全国柔道整復学校協会教育支援委員会教員研修等部会前部長)

○ポスターセッション発表内容紹介

- ・ 審美系スポーツ若年選手のルルヴェ動作とシーバー病の関連性について(明治東洋医学院専門学校)
- ・ 低出力レベルレーザー照射が筋疲労の予防効果に及ぼす影響(平成医療学園専門学校)
- ・ 解剖学における先端技術を活用した取り組み:VR教材の活用(四国医療専門学校)
- ・ キネシオテープの貼付が筋活動および筋酸素動態におよぼす影響(明治国際医療大学)
- ・ 腓腹筋に対する伸縮性テープの効果ー筋硬度・筋厚・筋輝度を指標とした比較ー(宝塚医療大学)
- ・ 柔道整復師が実施した、トリプルPを用いた子育て支援の効果について(四国医療専門学校)
- ・ 模擬試験の滞在時間と学力の関連性(平成医療学園専門学校)

2日目

○講演2 『Z世代の学生を国家試験合格に導く目標達成の技術』

講演者 青木 仁志(アチーブメント株式会社代表取締役会長兼社長)

座 長 水嶋 章陽(学校法人国際学園九州医療スポーツ専門学校理事長)

○講演3 『学生の心をつかむ話し方～PREPAを用いたコミュニケーション力向上で退学率減少を目指す～』

講演者 三橋 泰介(株式会社スピーチジャパン代表取締役)

座 長 桑野 幸仁(学校法人国際学園九州医療スポーツ専門学校教務部長)

○ 柔道整復師臨床実習指導者講習会

臨床実習指導者の資質の向上及び臨床実習施設における適切な指導体制の確保を目的に、「柔道整復師養成施設臨床実習指導者講習会開催指針」(平成29年3月31日付け医政発0331第56号)に則った内容により講習会を開催した。

開催日時・場所	内 容
令和5年9月3日(日)、9月10日(日) 開催主管:専門学校沖縄統合医療学院 沖縄県浦添市伊祖4丁目1番19号	講習時間16時間、講習実施担当者6名により開催、 受講修了者13名に修了証書を交付。
令和5年9月9日(土)、9月10日(日) 開催主管:福島医療専門学校 福島県郡山市並木3丁目2番地23	講習時間16時間、講習実施担当者8名により開催、 受講修了者37名に修了証書を交付。
令和5年9月17日(日)、9月18日(月・祝) 開催主管:日本工学院八王子専門学校 東京都八王子市片倉町1404-1	講習時間16時間、講習実施担当者10名により開催、 受講修了者9名に修了証書を交付。
令和5年9月23日(土)、9月24日(日) 開催主管:東京医療福祉専門学校 東京都中央区八丁堀1丁目11-11	講習時間16時間、講習実施担当者7名により開催、 受講修了者23名に修了証書を交付。
令和5年10月28日(土)、10月29日(日) 開催主管:東京医療専門学校 東京都渋谷区代々木1-55学園ビル	講習時間16時間20分、講習実施担当者10名により 開催、受講修了者41名に修了証書を交付。
令和5年10月28日(土)、10月29日(日) 開催主管:九州医療スポーツ専門学校 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2	講習時間16時間、講習実施担当者7名により開催、 受講修了者25名に修了証書を交付。
令和5年12月16日(土)、12月17日(日) 開催主管:東京メディカル・スポーツ専門学校 東京都江戸川区西葛西3-1-16	講習時間16時間10分、講習実施担当者7名により 開催、受講修了者35名に修了証書を交付。
令和6年1月14日(日)、1月21日(日) 開催主管:京都医健専門学校 京都府京都市中京区衣棚町51-2	講習時間16時間、講習実施担当者10名により開催、 受講修了者18名に修了証書を交付。
令和6年1月28日(日)、2月4日(日) 開催主管:専門学校浜松医療学院 静岡県浜松市浜北区貴布祢232-3	講習時間16時間、講習実施担当者7名により開催、 受講修了者14名に修了証書を交付。
令和6年2月11日(日)、2月12日(月・祝) 開催主管:朝日医療大学校 岡山県岡山市北区奉還町2-7-1	講習時間16時間、講習実施担当者8名により開催、 受講修了者25名に修了証書を交付。

3. 「教員研修会の発表者に対し研究助成を行うことを通じて知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 学校運営改善等助成事業

学校運営改善等助成事業助成金交付審査会を経て、令和5年8月8日付で下記のとおり研究助成金の交付を行った。

また、令和4年度学校運営改善等助成事業助成金による研究紀要をホームページに掲載した。

(1) 交付決定状況(総括)

①交付申請校		6校	③交付申請額(B)	2,648千円
内 訳	会員校	2校	④交付決定額(C)	538千円
	非会員校	4校	⑤差引予算残額(A-C)	462千円
②助成予算総額(A)		1,000千円 最高1校当たり 500千円限度		

(2) 交付決定額一覧

No.	学 校 名	助成金の種類(研究分野)	決定額
1	明治東洋医学院専門学校	柔道整復師の教育に関する分野	203千円
2	日本体育大学	柔道整復師の職域に関する分野	255千円
3	明治国際医療大学	柔道整復師の職域に関する分野	80千円
合計(会員校1校、非会員校2校)			538千円

※明治国際医療大学は交付決定後研究を辞退

4.「柔道大会の開催を通じて柔道整復に関する知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 柔道大会(第56回)

会員校相互の融和と協調を図るため、在校生による演武並びに各学校対抗試合を開催している。

(1)日 時 令和5年8月31日(木) 10:00開始

(2)会 場 東京武道館

(3)主 催 公益社団法人全国柔道整復学校協会

(4)後 援 公益財団法人全日本柔道連盟 公益社団法人日本柔道整復師会
公益財団法人東京都柔道連盟 公益社団法人東京都柔道整復師会
公益財団法人柔道整復研修試験財団 一般社団法人日本柔道整復接骨医学会
一般社団法人柔道整復教育評価機構

(5)参加校 29校

(6)表 彰

			団 体 表 彰	個 人 表 彰	
			学 校 名	最優秀選手	優秀選手
男子	五人制	優 勝	関西医療学園専門学校	樋口 晃生	小橋川 寿紀
		準優勝	新潟柔整専門学校		小菅 瑠輝愛
		3 位	スポーツ健康医療専門学校		河内 弦己
		3 位	森ノ宮医療学園専門学校		櫻井 翔斗
	三人制	優 勝	日本柔道専門学校	清水 建稀	東 久馬
		準優勝	横浜医療専門学校		八田 京磨
		3 位	仙台接骨医療専門学校		中屋敷 遥介
		3 位	四国医療専門学校		近藤 侑生希
女子	三人制	優 勝	福岡医健・スポーツ専門学校	芝田 鈴菜	竹之内 双葉
		準優勝	仙台接骨医療専門学校		佐藤 生歩
		3 位	福島医療専門学校		本間 愛琉
		3 位	京都医健専門学校		千代 佳那

最優秀選手は優勝校から1名。優秀選手は優勝校、準優勝校、3位校より各1名。

形演武表彰

学 校 名	氏 名	
盛岡医療大学校	小松 翔明	金崎 大空
仙台接骨医療専門学校	最上 咲希	相馬 倭華菜
仙台赤門医療専門学校	増田 武蔵	高橋 歩斗
呉竹医療専門学校	小倉 直輝	高野 智靖
東京メディカル・スポーツ専門学校	石神 颯	根本 侑哉
米田柔整専門学校	月野 晴菜	大前 友香
	樋口 平蔵	木村 玲音
	遠藤 瑞輝	山田 竜揮
平成医療学園専門学校	小高 佑介	柴田 陸斗
森ノ宮医療学園専門学校	本多 初音	金光 郁哉

5. 「柔道整復に関する広報活動を通じて柔道整復の普及啓発を目的とする事業」

○ ホームページの維持管理

学校協会の活動等をわかりやすく伝えるため、ホームページの維持管理(スマートフォン対応及びセキュリティ対策(SSL)等)に努めると共に、協会に関する最新情報(概要、柔道整復師学校養成施設倫理綱領、定款、役員名簿、予算及び決算、会報)を掲載した。

ニュースとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する行政庁からの各種通達、入学者の構成に関するアンケート調査結果報告及び臨床実習指導者講習会開催情報を掲載した。

お知らせとして、専科教員認定講習会、学校運営改善等助成事業、教員研修会及び国家試験模擬試験の各開催案内を掲載した。

令和4度学校運営改善等助成事業助成金による研究紀要を掲載した。

○ リーフレット等の作成・配布

柔道整復師養成学校への就学促進を目的とした学校協会リーフレット「柔道整復師の世界」を作成し、ホームページで公表。柔道整復師養成学校への就学の促進に寄与した。

各会員校から卒業10年までの学科を代表する卒業生で、現在の仕事、そこへのキャリア形成ステップ、時々の選択と意思を語ってもらう「卒業生のキャリア」を作成し、ホームページで公表した。

「専科教員認定講習会」受講啓発用のPRポスターを作成し、会員校・非会員校(大学含む)及び都道府県柔道整復師会に送付した。

6. 「調査研究活動の実施を通じて柔道整復に関する実態を把握し、学校教育の向上に寄与する事業」

○ 柔道整復師養成施設の入学者の構成に関するアンケート調査の実施

会員校44校及び協力していただいた9校の非会員校に入学者アンケート調査を実施。調査報告書を取りまとめ、ホームページ等で公表した。

Ⅱ 収益事業

1. 教科書監修

柔道の歴史や柔道と柔道整復師の関係、また認定実技審査で求められる技や礼法、審判規定などを解説、また、技や形などについては豊富なWeb動画を用意した「柔道」教科書を新たに刊行した。

Ⅲ 会員相互扶助事業

1. 会報の発行

毎年度季刊で発行している会報66～69号を発行した。

2. 優秀卒業生表彰

文武両道の精神を高揚し、学術並びに技術の習得に精励した学生に対して、学校協会賞の「表彰盾」を贈呈し表彰した。

令和5年度優秀卒業生名簿

学 校 名	氏 名	学 校 名	氏 名
北海道柔道整復専門学校	川尻 未希	名古屋医健スポーツ専門学校	濱田 朋輝
北海道ハイテクノロジー専門学校	玉村 尚汰	中和医療専門学校	梶木 絢水
盛岡医療大学校	角谷 瑠伊	北信越柔整専門学校	中西 利和
仙台接骨医療専門学校	今田 侑大	京都医健専門学校	田中 瑠騎
仙台赤門医療専門学校	小野 千咲	関西医療学園専門学校	牧 優希
福島医療専門学校	三瓶 敏裕	明治東洋医学院専門学校	満木 祐介
中央スポーツ医療専門学校	中野 秀之	平成医療学園専門学校	遠藤 愛美
大川学園医療福祉専門学校	飯村 太稀	森ノ宮医療学園専門学校	竹中 大輔
呉竹医療専門学校	西村 明希音	履正社国際医療スポーツ専門学校	嶋畑 蒼
日本柔道整復専門学校	小田 あかり	近畿医療専門学校	山内 崇司
東京医療専門学校	高木 信	東洋医療専門学校	吉田 司
日本医学柔整鍼灸専門学校	板垣 侑馬	関西健康科学専門学校	宮崎 奎吾
スポーツ健康医療専門学校	仲 駿介	朝日医療大学校	佐藤 彰馬
東京メディカル・スポーツ専門学校	高橋 風斗	IGL医療福祉専門学校	井原 茂樹
日本工学院八王子専門学校	明神 愛	四国医療専門学校	藤井 秋平
日本健康医療専門学校	小林 将也	河原医療福祉専門学校	二宮 渉
関東柔道整復専門学校	土岐 将	福岡医療専門学校	大畑 蘭
新宿医療専門学校	藤田 恭史	福岡医健・スポーツ専門学校	谷 智絵
アルファ医療福祉専門学校	薬丸 万里愛	福岡天神医療リハビリ専門学校	西之原 快人
東京医療福祉専門学校	高垣 いぶき	九州医療スポーツ専門学校	鶴岡 雅也
呉竹鍼灸柔整専門学校	植木 紬	九州医療専門学校	森川 晴喜
専門学校浜松医療学院	伊藤 凌我	専門学校沖縄統合医療学院	仲程 守
米田柔整専門学校	中川 真有里	計	45名

IV その他(法人会計)

1. 「柔道整復師国家試験」模擬試験

柔道整復師国家試験の合格率の維持向上と、良質な試験問題作成等を通じて教員の資質の向上を図ることを目的に、非会員校にも参加を呼び掛け模擬試験を実施した。具体的には、教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会が作成した試験問題により、12月2日(土)～12月17日(日)の間、参加希望校毎に試験を実施した。試験実施三年目の令和5年度は、計44校(会員校35校、非会員校9校)、1,745名(会員校1,316名、非会員校429名)が参加した。

監 査 報 告 書

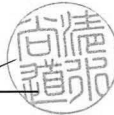
公益社団法人 全国柔道整復学校協会

会 長 谷 口 和 彦 殿

令和6年5月10日

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

監 事 米田 忠正 

監 事 清水 尚道 

私たちは、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における公益社団法人全国柔道整復学校協会の会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事の業務執行の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事項は無いと認める。

以 上

令和 6 年度定時総会

(5) 議事

決議事項

第2号議案 「役員を選任」の件

公益社団法人全国柔道整復学校協会 定款（抜粋）

－ 前 略 －

第5章 役員

（役員の設置）

第19条 この法人に、次の役員を置く。

（1）理事 8名以上11名以内

（2）監事 2名以内

2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長とする。

3 前項の会長及び副会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

4 会長、副会長以外の理事を業務執行理事とすることができる。

（役員の選任）

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 会長、副会長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 この法人の監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及びこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

（理事の職務及び権限）

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は会長を補佐し、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

4 業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

- 5 会長、副会長及び業務執行理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員の報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(責任の免除)

第26条 この法人は、役員的一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

— 以 下 略 —

公益社団法人全国柔道整復学校協会役員選任規程

(総則)

第1条 この規程は、公益社団法人全国柔道整復学校協会（以下「本協会」という。）定款に定めるもののほか、役員（理事及び監事）選任の方法について定めるものである。

(役員の資格及び定数)

第2条 役員は、正会員の資格を有する。ただし、学識経験者として、正会員以外から2名以内の役員を選任できるものとし、役員の定数は、理事8名以上11名以内、監事2名以内とする。

(役員選考の方法)

第3条 役員の選任方法は、総会に役員選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置する。

2 選考委員会は、役員候補を選考し、総会に諮る。

(選考委員会の構成及び任務)

第4条 選考委員会の構成は、正会員4名、正会員の理事2名及び監事1名の7名とする。

2 選考委員（以下「委員」という。）は、総会において選出する。ただし、総会の議長は委員となることはできない。

3 委員長は、選考委員会において委員の互選により選出する。

4 選考委員会は、役員を選考し、総会に報告しなければならない。

(補欠選任)

第5条 前各条は、補欠選任についても準用する。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会で行う。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

令和 6 年度 会員協議会

(1) 各委員会、関連団体等報告

1) 各委員会

・ 常設委員会

ア 教育支援委員会 教科書部会

イ 教育支援委員会 教員研修等部会

- ・ 令和 6 年度第 1 回部会（5/23）議事録 … 1
- ・ 学校運営等改善助成事業（令和 5 年度確定,令和 6 年度申請状況） … 4

ウ 教育支援委員会 専科教員認定講習部会

- ・ 令和 6 年度受験者数等 … 5

エ 教育支援委員会 柔道整復師国家試験模擬試験部会

- ・ 令和 6 年度模擬試験参加へのご案内 … 6

オ 広報・調査委員会

カ 柔道委員会

- ・ 第57回柔道大会について … 8
- ・ 令和 6 年度第 2 回部会（6/7）議事録 … 11

キ 組織運営委員会

令和6年度 第1回教育支援委員会
教員研修等部会 議事録

日 時：令和6年5月23日（木）14：00～16：00

会 場：（公社）全国柔道整復学校協会

出席者： 3名（伊藤担当理事、葉山部会長、桑野副部会長）

議 題

- （1）2025年度以降の教員研修会主幹校選出について
- （2）その他

会議内容

定刻となり伊藤担当理事の挨拶後、議事へと進行した。

- （1）2025年度以降の教員研修会主幹校選出について

3月に実施した主幹校募集のアンケート結果について、以下の結果であったことが報告された。

【その1】主幹校募集の結果（回答33校）

第67回（2025年度）	なし
第68回（2026年度）	森ノ宮医療専門学校（大阪）
第69回（2027年度）	なし
第70回（2028年度）	明治東洋医学院専門学校 専門学校沖縄統合医療学院
第71回（2029年度）	明治東洋医学院専門学校 九州医療スポーツ専門学校

※「主幹校の業務の説明を受けてから検討したい」

- ・河原医療福祉専門学校 ⇒ 4/10（水）説明（zoom）を実施。

（参加者：水野先生・伊藤理事・葉山部会長・桑野副部会長）

※前向きに検討中。但し、来年度はご遠慮したい。

- ・日本柔道整復専門学校 ⇒ 4/22（月）説明（zoom）を実施。

（参加者：山口先生・伊藤理事・葉山部会長・桑野副部会長）

※5/10回答 今回のご遠慮したい旨

- ・専門学校沖縄統合医療学院 ⇒ 5/1（水）説明（zoom）を実施。

（参加者：登崎先生・葉山部会長・桑野副部会長）

※2028年度を希望

- ・森ノ宮医療学園専門学校 ⇒ 5/13（月）説明（zoom）を実施。

(参加者：由良先生・外林先生・桑野副部長)

【その2】アンケート結果

①教員研修会の講演で取り扱ってほしいテーマ

- ・ 国家試験合格率 UP に向けての策（実践していることなど）
- ・ 学力低下における教授方法、休退学防止について
- ・ 退学や休学を抑制する方策について
- ・ これからの時代に求められる柔道整復師の形とその教育方法
- ・ 柔道整復師の未来について
- ・ モチベーションアップの方法。オンライン授業技術的な方法について。
- ・ 学習障害を抱える学生への指導、学生のモチベーション教育
- ・ カウンセリング技法、交渉術など
- ・ 新カリキュラム、第三者評価

②教員研修会についてご意見、ご要望

- ・ 以前、主幹校をやらせていただき、非常に勉強になりましたが、現在マンパワーが足りず、お受けすることが厳しい状況です。
- ・ 2018 年 8 月品川プリンスホテルで行われた全国教員研修会では、主幹校を担当いたしました。
- ・ これからの柔道整復教育に必要となる知識、技術についてディスカッション形式などでいろいろな意見を聞いてみたいです。
- ・ オンライン形式での開催を希望
- ・ 開催地域は 7 地方、8 地方などを毎年回して、部会が運営補助を行っていくなどが良いと思います。

【その3】来年度（2025 年度）の教員研修会について

第 1 候補として、大阪、明治東洋医学院専門学校にお願いしたいがどうか。

但し、大阪万博（期間：4/13～10/13）を考える必要があり、会場・宿泊施設の確保がどうか。

第 2 候補として、地方での開催を検討する。

→6 月の理事会で諮っていただく。

(2)その他

今後の研修会（運営方法）について下記内容を今後、理事会に提案する。

- ・ 主幹校の役割を変更する。
→ブロックの学校にテーマに沿った講師の依頼をする。
- ・ ブロックに分けて順番に回す

(北海道・東北、関東、東海北信越、近畿、中国・四国、九州)

- ・運営は部会で行う。
→役割としては会場決定、運営会社の選抜（入札方式）、当日の運営
※最終は理事会で承認をとる。
- ・宿泊は参加者で予約してもらう。来賓や講師に関しては部会でとるのも一つの案とする。
- ・2026年（第68回大会）に向けて、柔道大会と一緒にやることを検討してはどうか。
メリット：経費削減、OC等学校行事と重なるのを低減できる、教員が両方参加しやすくなる。
デメリット：運営が煩雑になる可能性。研修会と柔道大会の会場が離れる可能性がある。

次回、部会開催日（6月20日）までに以下について準備することとした。

- ・運営業者に見積り、6/20に運営に関するプレゼンをしてもらえるか調査
- ・会場の空き状況調査
福岡県：福岡国際会議場ほか
広島県：広島コンベンションホールほか
宮城県：仙台国際センター，TKP ガーデンシティ仙台ほか
- ・講師選定の具体例の作成（サブテーマ作成→開催ブロック校に依頼）

次回部会の開催日時について6月20日（木）14時と確認し閉会した。

○ 学校運営改善等助成事業

(1) 令和5年度

交付確定状況

①交付申請校		6校	②交付申請額	2,648千円
内 訳	会員校	2校	③交付決定額	538千円
	非会員校	4校	④交付確定額	280千円

※1校当たり500千円限度

交付確定額一覧

No.	学 校 名	助成金の種類(研究分野)	決定額
1	明治東洋医学院専門学校	柔道整復師の教育に関する分野	203千円
2	日本体育大学	柔道整復師の職域に関する分野	77千円
合計(会員校1校、非会員校1校)			280千円

(2) 令和6年度

交付申請状況

①交付申請校		5校	②交付申請額	1,974千円
内 訳	会員校	2校		
	非会員校	3校		

※1校当たり500千円限度

交付申請額一覧

No.	学 校 名	助成金の種類(研究分野)	決定額
1	アルファ医療福祉専門学校	柔道整復師の職域に関する分野	500千円
2	森ノ宮医療学園専門学校	柔道整復師の教育に関する分野	486千円
3	日本体育大学	柔道整復師の職域に関する分野	284千円
4	常葉大学	柔道整復師の教育に関する分野	206千円
5	宝塚医療大学	柔道整復師の職域に関する分野	498千円
合計(会員校2校、非会員校3校)			1,974千円

令和6年度専科教員認定講習会

受験者数等報告書

令和6年6月21日現在
専科教員認定講習部会

東京会場 主幹校 日本柔道整復専門学校
 協力校 東京リハビリ・スポーツ専門学校
 協力校 東京医療福祉専門学校

大阪会場 主幹校 平成医療学園専門学校
 協力校 明治東洋医学学院専門学校
 協力校 関西医療学園専門学校

単位（名）

	東京会場	大阪会場	計
受験者数	24	26	50
（実務経験4年）	（6）	（8）	（14）
合格者数	23	25	48
（実務経験4年）	（6）	（8）	（14）
受講者数	23	25	48
（実務経験4年）	（6）	（8）	（14）

・東京会場開講式 6月1日（土） 日本柔道整復専門学校

・大阪会場開講式 6月15日（土） 宝塚医療大学 大阪中津キャンパス5階

全柔学協発第135号
令和6年6月21日

柔道整復師養成施設長 各位

公益社団法人 全国柔道整復学校協会
会長 谷口 和彦
(公印省略)
担当理事 齊藤 秀樹

令和6年度「全国柔道整復学校協会統一模擬試験」参加へのご案内

謹啓 入梅の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の通り、令和6年度「全国柔道整復学校協会統一模擬試験」を開催することとなりました。

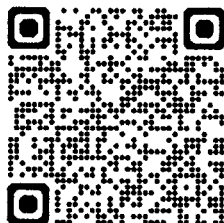
各養成施設の受験生が、この模擬試験により自己の学修状況を全国と比較することで、更なる学習の意欲を高められることを目指しています。また貴校における国家試験に向けての学生の指導にご活用いただけると存じます。

参加についてご検討下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 申込み期限：令和6年10月4日（金）
- 2 費用：当協会会員校 1人につき1,100円（消費税込み）
当協会会員校外 1人につき3,300円（消費税込み）
- 3 申込み方法：下記のQRコード・アドレス（Google forms）にてご回答ください。



<https://docs.google.com/forms/d/1yny2Zxqx45jqbWLMhYKPuYRsA6O0lNUbIRXdxmz4f94/edit>

※QRコードが読み取れない場合は担当杉山までメールにてご連絡ください。

4 試験実施期間：11月11日（月）～12月1日（日）

※実施期間内に各校にて実施ください。

5 試験問題・解答について：11月1日（金）（予定）に各校にデータ送信

※試験問題の印刷は受験者分各校でお願いします。

※解答マークシートは学校協会より申込人数分各校に郵送いたします。

6 問題への質問受付期間：各校試験実施日～12月3日（火）

7 採点について：解答マークシートを学校協会に返送していただき採点。

※解答マークシートの返送については各校負担でお願いいたします。

※全校のマークシートが揃わなければ、全体結果の返却に支障を来すため、
マークシートは試験実施後3日以内に協会宛に発送をお願いいたします。

8 結果について：全国での平均、受験者の順位、各科目平均、各問題識別係数、受験生
成績個表、学校間比較（他校校名なし）等を12月25日（水）（予
定）に各校に送信いたします。

9 実施後アンケート：1月中旬に実施させていただきます。

10 昨年度からの変更点

- ・試験結果配信を年内（予定）といたします。
- ・出題の構成をオリジナル問題70%、国家試験改編問題30%といたします。

***参加校には、後日詳細な実施要領をお送りいたします。**

【問い合わせ先】

全国柔道整復学校協会

教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

東京呉竹医療専門学校 担当：杉山 直人

電話：03-3320-1815（8月23日まで）

03-3341-4043（8月25日から）

Mail：sugiyama@kuretake.ac.jp

令和6年6月21日会員協議会 柔道委員会報告

公益社団法人全国柔道整復学校協会

1. 第57回柔道大会日程

▶ 日 時 : 令和6年8月6日(火)

開会式 10:00

形演武 10:15

試 合 10:45

閉 会 15:00

※監督会議 令和6年8月5日(月) 16:00～

▶ 会 場 : 東京武道館

2. 参加校（予定）

▶ 会員校 39校 非会員校 3校 計42校

▶ 男子5人制の部 14校

▶ 男子3人制の部 14校

▶ 女子3人制の部 14校

▶ 形演武の部 14校

※参加申し込み 令和6年6月21日（金）

3. 形演武及び試合

▶ 試合

試合場 4面

予選リンク戦 → 決勝トーナメント戦

▶ 形演武

試合場 6面

6組×3クール

4. お知らせ

▶ パンフレット

紙での配布を取り止めホームページでWeb配信する
7月末に配信予定

対戦表は抽選後6月末に配信予定

▶ 選手宣誓

前年男子5人制・男子3人制・女子3人制の優勝
校で輪番制に変更する

▶ 計量

対戦相手の監督の要請により行うことができる

良い大会にするために
ご協力よろしくお願いします

柔道委員会

令和6年度 第2回柔道委員会会議
議 事 録

1. 日 時：令和6年6月7日（金曜日）14：00～16：00

2. 会 場：（公社）全国柔道整復学校協会 会議室

3. 出席者：7名（委員6名）

4. 議 題：

（1）大会準備について

（2）大会運営について

（3）その他

5. 会議内容

（1）大会準備について （2）大会運営について

【アンケート集計結果】

- ・男子5人制14校、男子3人制14校、女子3人制14校、形演武14校の参加希望があった。
- 不参加校の理由について『選手がいない』が10校、『選手が足りない』が5校、その他の理由として『試験期間中のため』、『学校業務のため』との回答があった。

【試合形式について】

- ・前年度と参加校数がほぼ変わらないため前年度と同じリンク戦の4会場で行うこととした。
- ・形演武の出場数が前年度より増えたため3回に分けて演武を行う。今後、参加数が増え続けると試合時間に影響がでるため各学校の形演武出場数に制限をかける必要がある。来年度以降、様子をみて検討していく。

【係員派遣について】

- ・経費削減のため係員を最小人数で調整していくこととした。

【審判員依頼について】

- ・1試合場6名の審判員で行うことにし計24名の審判員で調整し、謝金については交通費込みで1万円を支給する。
- ・審判長は下地先生に依頼する。

【前日準備について】

- ・研修室の設営は15時から行う。

【審判・監督会議について】

- ・監督会議は大会前日の16時から行い、審判会議は大会当日の9時15分から行う。

【パンフレットについて】

- ・今年度から製本での配布を止め PDF で配信を行うこととした。7 月末に学校協会 HP で配信を行う。

(3) その他

【令和 7 年度柔道大会について】

- ・令和 7 年度東京武道館優先予約を下記日程で申し込みすることとした。

第 1 希望：8 月 3 日（日）

第 2 希望：8 月 2 日（土）

第 3 希望：8 月 5 日（火）

第 4 希望：8 月 6 日（水）

第 5 希望：8 月 19 日（火）

以上

令和6年度 会員協議会

(1) 各委員会、関連団体等報告

2) 関連団体等

- ・ (公財) 柔道整復研修試験財団
今年度認定実技審査の審査方法について
- ・ (一社) 日本柔道整復接骨医学会
- ・ (公社) 日本柔道整復師会
- ・ (一社) 柔道整復教育評価機構
- ・ 厚生労働省
- ・ 文部科学省

公財柔研発第55号
令和6年6月11日

公益社団法人 全国柔道整復学校協会
会長 谷口 和彦 様

公益財団法人柔道整復研修試験財団
代表理事 今別府 敏雄
認定実技審査委員会
委員長 関口 正雄
(公印省略)

令和6年度認定実技審査の審査方法について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当財団の事業につきましては、格別なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度の認定実技審査につきまして、審査項目の変更は行わず、通常の審査方法で実施することとすると第1回認定実技審査委員会で決定しましたのでお知らせいたします。

認定実技審査実施にあたっては、認定実技審査要領【令和4年度改訂版】をご確認ください。

なお、養成施設並びに外部審査員におかれましては、柔道実技審査の際には怪我などがないよう十分注意して実施いただきたく存じます。

何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度評価事業について

柔整分野別評価を評価種目として独立させ、令和6年度の募集種目に加える

1. 背景

事業実施委員会は、令和5年評価事業について、評価部会、第三者評価委員会、事業実施委員会等委員から広く意見聴取及び意見交換会を行った。

その結果、

・現在は、機関別評価と分野別評価の統合版という評価基準種目となっているが、柔道整復分野の評価それ自体を強化すべきという意見が複数あった。

また令和6年度受審校の募集に関し、複数の会員校から応募したいが教育関連では柔整学科だけ見てもらいたいのだが、との要望があった。

これらについて、5月16日及び6月17日の拡大事業実施委員会、昨日の理事会において、関連する評価基準等の変更も詳細に検討した結果、以下を決定した。

2. 内容

① 柔整分野別評価を独立させる

・現在の評価段階は、以下の2段階となっている

第一段階 指定規則・指導ガイドラインの遵守の確認・評価（加盟審査レベル）

第二段階 機関別＋柔整分野別評価＝統合版評価

この第二段階を以下の2つに分ける

柔整分野別評価と統合版評価（機関別＋柔整分野別評価）

② 以下の大項目を柔整分野別評価の評価対象範囲とする

1. 教育理念・目的・目標

2. 教育活動

3. 学生支援

4. 学修成果・評価・教育改善

5. 入学選考・学生募集

6. 学校評価・情報公開・改善

③ 評価者は、柔整分野学校関係者2名＋柔整分野業界関係者2名＋学識経験者1名

④ 評価費用は統合版3分の2（110万円：消費税込）とする

⑤ 統合版評価は、令和6年度においては令和5年と同様とし、その改善を令和6年度中に行う

⑥ 上記方針に基づいて、柔整分野別評価版評価基準書等を作成するなど、令和6年度の新たな評価種目としての募集体制を整備する

以上

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

令和5年度 第12回理事会議事録

1. 開催された日時 令和6年3月15日（金）12：00～13：37
2. 開催された場所 浜松町コンベンションホール会議室2
東京都港区浜松町二丁目3番1号
日本生命浜松町クレアタワー6階
3. 理事総数及び定足数 総数 8名、定足数 5名
4. 出席理事数 7名
（実出席）谷口 和彦（以下「谷口会長」）、関口 正雄（以下「関口副会長」）、
齊藤 秀樹、奥田 久幸、廣岡 聡、田中 雅博、大麻 正晴
〈監事出席〉米田 忠正、清水 尚道
5. 議長 会長 谷口 和彦
6. 議題
協議・決議事項
第1号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件
第2号議案 令和6年度理事会等開催日程の件
第3号議案 嘉納治五郎アニメ化プロジェクト後援の件
第4号議案 日本柔道整復接骨医学会理事候補者推薦依頼の件
第5号議案 柔道整復研修試験財団理事候補者等推薦依頼の件
第6号議案 その他
報告事項
第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（3月、4月）の件
第2号報告 その他
7. 議事の経過及びその結果
（1）定足数の確認等
冒頭で事務局長より、理事総数8名中7名が出席であること、したがって開催要件

の定足数たる過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。

議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

協議・決議事項

①第1号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件

谷口会長から、2月22日（木）学校協会事務所において、日本柔道整復師会の竹藤副会長及び森川副会長同席のもと、厚生労働省医政局医事課（以下、「医事課」という。）担当官と次期カリキュラム改訂に向け協議を行い、その際に受けた学校協会提出のカリキュラム変更案に対する医事課の指摘及び意見等については、逐次カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会で整理していく予定と報告。

以降の理事会審議では、医事課のカリキュラム改訂を議論する検討会議の設置機会を失すことの無いよう、学校協会として計画は前倒しで進めていくべきとの意見があり、今後もその都度理事会に相談しながら事を進めていきたいと谷口会長は説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、引き続き谷口会長に本件に関する対応を一任するとして、本議題は継続審議となった。

②第2号議案 令和6年度理事会等開催日程の件

事務局長から、令和6年度の総会及び理事会等開催日程案について説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認し、原案どおり可決した。

③第3号議案 嘉納治五郎アニメ化プロジェクト後援の件

事務局長から、嘉納治五郎アニメ制作委員会の山口 徹会長より、同委員会が行っている、柔道の創始者「嘉納治五郎」の生涯を関係者の視点から描く伝記漫画を制作し、この漫画をベースにしたアニメ作品をYouTube等で無料配信するプロジェクトについて、学校協会に対し後援の依頼があったと説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

④第4号議案 日本柔道整復接骨医学会理事候補者推薦依頼の件

谷口会長から、前回理事会で承認可決された日本柔道整復接骨医学会理事候補者推薦の件に関し、推薦候補者の坂本 歩先生（当会顧問、学校法人呉竹学園理事長）ご本

人よりこれを固辞する旨回答があったため、次案として「柔道」教科書の執筆者の一人でもある紙谷 武先生（東海学園大学教育学部教育学科教授）を推薦することを提案。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認、提案どおり可決した。

⑤第5号議案 柔道整復研修試験財団理事候補者等推薦依頼の件

事務局長から、柔道整復研修試験財団代表理事より、任期満了（令和6年6月）に伴う理事候補者及び各種委員会委員候補者推薦依頼文の送達があったことを報告。

谷口会長は、各推薦候補者案として、

- ・理事候補者は、引き続き関口正雄副会長及び大麻正晴理事
- ・施術管理者研修実施委員会委員候補者は、引き続き関口正雄副会長及び大麻正晴理事
- ・認定実技審査委員会委員候補者は、引き続き藤原清治先生（関西医療学園専門学校）及び三澤圭吾先生（明治東洋医学院専門学校）と、新たに早川幸秀先生（東京医療専門学校）

を提案。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認、提案どおり可決した。

なお、谷口会長から、同財団より自身宛て評議員留任依頼が届いており、これを受諾すると報告。

⑥第6号議案 その他

谷口会長から、事務局長人事について4月1日より1か月間、学校協会ホームページを通じて事務局長候補者を公募したいと説明。

事務局長から、事務局員の人事異動案（渡邊 都4/1付採用、大原悦子5/31付退職、）を説明。

齊藤理事から、学校協会監修教科書の改訂作業を「外科学概論」（株式会社南江堂）及び「解剖学」（医歯薬出版株式会社）から開始したいと説明。

議長は、各議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認、提案どおり可決した。

報告事項

①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（3月、4月）の件

谷口会長及び関口副会長から、3月及び4月における職務の執行状況等を報告。

事務局長から、3月及び4月の各委員会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

②第2号報告 第32回柔道整復師国家試験問題出題問題に関する意見書

谷口会長から、以下の内容を報告。

- ・第32回柔道整復師国家試験問題に関し、各校より数多くの意見とその根拠資料を提出してもらい、それらを取りまとめて学校協会会長名の意見書として柔道整復研修試験財団代表理事宛てに提出
- ・意見書は「全体的な設問の内容・レベルについて」、「複数回答があると思われるもの」、「設問の表現に工夫を要すると思われるもの」の三つに分類し集約
- ・「全体的な設問の内容・レベルについて」は、①幅広い範囲から万遍なく出題されており、難易度においても適切な問題であった、②必修問題では、一部において学生を惑わせるような問題が見受けられたと共に、もう少し学生が理解しやすい表現を使用していただきたいとの意見が多数、との纏め方を行った
- ・「複数回答があると思われるもの」、「設問の表現に工夫を要すると思われるもの」については添付資料のとおり

③第3号報告 その他

関口副会長から、学校教育法の改正内容について報告。

事務局長から、厚生労働省科学研究費（医療関係職種の養成教育における課題解決に資する研究）採択状況について報告。

以上をもって議案の審議等を終了したので、13時37分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和6年3月15日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

令和6年度 第1回理事会議事録

1. 開催された日時 令和6年4月19日（金）14：00～16：00
2. 開催された場所 全国柔道整復学校協会事務局
東京都港区浜松町1－6－2丸神ビル1階
3. 理事総数及び定足数 総数 8名、定足数 5名
4. 出席理事数 8名
（実出席）谷口 和彦（以下「谷口会長」）、関口 正雄（以下「関口副会長」）、
齊藤 秀樹、奥田 久幸、廣岡 聡、田中 雅博
（オンライン出席）大麻 正晴、伊藤 譲
〈監事：実出席〉米田 忠正、清水 尚道
5. 議長 会長 谷口 和彦
6. 議題
協議・決議事項
第1号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件
第2号議案 専科教員認定講習会の実務経験年数計算方法の件
第3号議案 今年度教員研修会の本部主催講演内容の件
第4号議案 今後の教員研修会主幹校の件
第5号議案 嘉納治五郎アニメ「柔の道」後援と協賛の件
第6号議案 委員会委員人事の件
第7号議案 その他
報告事項
第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（4月、5月）の件
第2号報告 各委員会等
第3号報告 関係団体
第4号報告 その他

7. 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で事務局長より、オンラインによる出席を含めて理事総数8名中全員が出席であること、したがって開催要件の定足数たる過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。

議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

協議・決議事項

①第1号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件

谷口会長及び関口副会長から、本理事会開催日前日の18日（木）に、新任の厚生労働省医政局医事課（以下、「医事課」という。）担当専門官と面会し、挨拶と共に次期カリキュラム改訂検討の進捗状況及び第三者評価に関する資料を持参し説明を行ったと報告。

今後については、6月6日（木）16時から学校協会事務所において、医事課担当専門官他と協議を行う予定であると説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、引き続き谷口会長に本件に関する対応を一任するとして、本議題は継続審議となった。

②第2号議案 専科教員認定講習会の実務経験年数計算方法の件

奥田理事及び伊藤理事から、専科教員認定講習会（以下、「講習会」という。）の受講資格である柔道整復師として実務に従事した期間に、①柔道整復に関連する大学院の期間、②柔道整復の施術所以外（鍼灸院、スポーツジム、ストレッチや整体院）の実務経験、を考慮すべきかどうか、また併せて実務経験に時間数を求めるかどうか、について理事会の審議・決議を求めたいと説明。

以降の理事会審議では、

- ・実務経験の中身の解釈は多様であり学校協会だけが厳密に受け止めている
- ・提出された実務証明書の否定はできず受け取らざるを得ない
- ・講習会受講申請書で記載を求めている勤務時間数については削除すべき
- ・大学院は勉学の場所であり労働ではないので不可と考える
- ・実務卓越性との質の問題については議論が尽きず指定できない、したがって先例を参考に個別に判断・対処していくしかない
- ・柔道整復師を取り巻く環境の変化に伴い、柔軟な対応が必要と考える

- ・スポーツや介護現場での勤務経験は考慮すべき
- ・他の例では、薬剤師における実務家教員の場合、「病院、医療機関、薬局等で5年以上の実務経験」と文部科学省通知に記載されている

との発言があり、谷口会長は本議題について、来年度の講習会受講生から適用できるよう、専科教員認定講習部会において議論及び成案を作成することを提案。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認し、本議題は継続審議となった。

③第3号議案 今年度教員研修会の本部主催講演内容の件

伊藤理事から、今年度教員研修会の本部主催講演内容について、講演時間（85分間）を考慮すると、①関口副会長による第三者評価、②齊藤理事による次期カリキュラム改訂、の二演題としたいと説明。

谷口会長は、伊藤理事による柔道整復師教育モデル・コア・カリキュラムを三番目の演題に加え、講演時間の配分は各演者で調整することを提案。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、過半数の賛成で谷口会長提案を承認し可決した。

④第4号議案 今後の教員研修会主幹校の件

伊藤理事から、今後の教員研修会主幹校引き受けについて会員校に対し実施したアンケート結果について、二校から主幹校引き受けに前向きな回答があったことを報告すると共に、来年度主幹校をどの会員校にするか本理事会で審議・決議を求めたいと説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、主幹校引き受けに前向きな回答があった二校の内の一校について、関口副会長から当該校理事長に主幹校引き受けの打診を行い、その結果を次回理事会に報告することとし、出席理事全員異議なくこれを承認し、本議題は継続審議となった。

なお、谷口会長は、今後の教員研修会について、開催引き受けを表明した会員校の中から主幹校を決める従来方式ではなく、地域を区分し学校協会主体で実施することを柱とする議論をこれまでの理事会で行ってきた経緯もあり、再度、教員研修等部会で議論を詰めて欲しいと要請。

⑤第5号議案 嘉納治五郎アニメ「柔の道」後援と協賛の件

事務局長から、前回理事会で承認可決された嘉納治五郎アニメ「柔の道」の同アニメ制作委員会に対する後援の件に続き、日本マスタース柔道協会会長より同アニメに対する後援及び一口10万円の協賛依頼があったことを説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可

決した。

⑥第6号議案 委員会委員人事の件

事務局長から、4月の教員人事異動に伴い会員校より申請のあった、教育支援委員会教科書部会、広報・調査委員会、柔道委員会及び組織運営委員会における委（部）員交代案について説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

⑦第7号議案 その他

事務局長から、学校協会の令和5年度決算に向けた事務作業の最中、公益目的財産（三井住友銀行浜松町支店普通預金）の一部が、運転資金不足により一時的な取り崩し状態に至っていたことが判明したと報告、併せて、本状態は会員校から入金される今年度年会費によって補填、早急に解消される予定であると説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

なお、谷口会長は、事務局に対し学校協会の経理実務に関し一層の慎重を期すよう指示を行うと共に、各理事に対し経費節約を念頭に置いた事業実施の検討を要請。

報告事項

①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（4月、5月）の件

谷口会長及び関口副会長から、4月及び5月における職務の執行状況等を報告。

事務局長から、4月及び5月の各委員会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

②第2号報告 各委員会等

ア. 教育支援委員会教科書部会

齊藤理事から、監修教科書の「外科学」、「解剖学」の改訂実施に向け、今月23日（火）に作業部会を開催する予定であると報告。

イ. 教育支援委員会教員研修等部会

無し。

ウ. 教育支援委員会専科教員認定講習部会

奥田理事から、今年度講習会の受講試験志願者は、東京会場が24名（実務経験

5年以上18名、同5年未満6名)、大阪会場は26名(実務経験5年以上18名、同5年未満8名)であり、5月12日(日)に試験を実施する予定であると報告。

続いて同理事から、今年度受講試験の会場借料を2万円とする案の緊急上程申し出があり、議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

エ. 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

齊藤理事から、模擬試験受験生の減少傾向を分析するためのアンケート調査を近日中に実施する予定であると報告。

オ. 広報・調査委員会

大麻理事から、今月16日(火)に開催した委員会の審議概要について、「入学生の構成に関するアンケート調査」を6月の1か月間かけて実施、ホームページ掲載の「卒業生のキャリア」について、内容の更新と併せて新たに第二作を作成するか検討を行っていく予定であると報告。

カ. 柔道委員会

廣岡理事から、今年度柔道大会開催に向け、今月25日(木)に委員会を開催する予定であると報告。

キ. 組織運営委員会

無し。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

③第3号報告 関連団体

ア. (公財) 柔道整復研修試験財団

関口副会長から、昨年6月の柔道整復師国家試験漏洩再発防止委員会による報告書内容と今年度の国家試験結果に関し、同財団に対する学校協会の対応方針について検討が必要であると報告。議論の結果、同財団の評議員会及び理事会の場で、その都度発言していくことを確認。

イ. (一社) 日本柔道整復接骨医学会

事務局長から、同学会理事候補者推薦依頼の件は、紙谷 武先生を推薦する旨回答したと報告。

ウ．（公社）日本柔道整復師会
無し。

エ．（一社）柔道整復教育評価機構

関口副会長から、令和５年度第二次評価事業は、東京２校、大阪２校の計４校を実施し報告書を作成したと報告。

オ．厚生労働省

事務局長から、同省医政局医事課の人事異動状況について報告。

カ．文部科学省

関口副会長から、学校教育法の改正、外国人留学生のキャリア形成促進プログラムの動向について報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

④第４号報告 その他

事務局長から、今年度の正会員校及び理事長、校長、正会員について報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和６年４月19日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

令和6年度 第2回理事会議事録

1. 開催された日時 令和6年5月17日（金）14：00～16：00
2. 開催された場所 全国柔道整復学校協会事務局
東京都港区浜松町1－6－2丸神ビル1階
3. 理事総数及び定足数 総数 8名、定足数 5名
4. 出席理事数 8名
(実出席) 谷口 和彦（以下「谷口会長」）、関口 正雄（以下「関口副会長」）、
齊藤 秀樹、奥田 久幸、廣岡 聡、田中 雅博、伊藤 譲
(オンライン出席) 大麻 正晴
〈監事：実出席〉米田 忠正
(監事：オンライン出席) 清水 尚道
5. 議 長 会 長 谷 口 和 彦
6. 議 題
協議・決議事項
第1号議案 令和5年度事業報告書の承認の件
第2号議案 令和5年度決算報告書案の件
第3号議案 定時総会の開催の件
第4号議案 第57回柔道大会に向けての変更及び検討事項の件
第5号議案 委員会委員人事の件
第6号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件
第7号議案 その他
報告事項
第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（5月、6月）の件
第2号報告 各委員会等
第3号報告 関係団体
第4号報告 その他

7. 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で事務局長より、オンラインによる出席を含めて理事総数8名中全員が出席であること、したがって開催要件の定足数たる過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。

議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

協議・決議事項

①第1号議案 令和5年度事業報告書の承認の件

事務局長から、資料に基づき令和5年度事業報告書案の説明が行われた。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

②第2号議案 令和5年度決算報告書案の件

事務局長から、資料に基づき令和5年度決算報告書案（貸借対照表、損益計算書及び財産目録）の説明、続いて監事より、理事の職務の執行状況、財務状況について適正との監査報告が行われた。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

③第3号議案 定時総会の開催の件

谷口会長から、定款第14条の規定に基づき、6月21日に令和6年度定時総会を開催するとの提案が行われた。

なお、総会の議題は、定款第36条第2項の規定に基づき、本理事会で承認可決された「令和5年度事業報告書」の報告及び「令和5年度決算報告書案の承認」に加え、本定時総会の開催日を以て現役員は任期の満了を迎えることから、定款第20条の規定に基づき「役員の選任」、の二題としたいと説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

④第4号議案 第57回柔道大会に向けての変更及び検討事項の件

廣岡理事から、今年度第57回柔道大会の開催に向け

- ・選手宣誓は輪番制とし、今年度は女子3人制優勝校の福岡医健・スポーツ専門学校に依頼する
- ・経費節約の観点から、パンフレットは印刷せずホームページに掲載する
- ・非会員校女子の参加費を4万円に変更する
- ・所要の柔道大会規程改訂を行う

との各措置を講じたいと説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

⑤第5号議案 委員会委員人事の件

事務局長から、教員の人事異動に伴い会員校より申請のあった、教育支援委員会教科書部会における部員交代案について説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

⑥第6号議案 次期カリキュラム改訂に向けた検討の件

谷口会長から、

- ・日本柔道整復師会から要望を受けた、学校教育の中で機能訓練指導員が障害者サービス分野の配置要件の対象となれるよう障害福祉サービスに関する教育の実施について、カリキュラム検討に盛り込んでいきたい
- ・カリキュラム検討の他に、教員の養成と第三者評価の導入を加えた三点セットで、6月6日の厚生労働省医政局医事課担当専門官他との協議に臨みたい

と説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認し、本議題は継続審議となった。

⑦第7号議案 その他

関口副会長から、令和4年12月16日理事会で決議した、一般社団法人柔道整復教育評価機構が実施する第三者評価の第二次評価を学校協会会員校が受審した際、学校協会から当該校に対し一律75万円を費用助成する件（以下、「令和4年度評価受審費用助成枠組み」という。）について、

- ・東京都及び大阪府では、当該校に対し評価受審費用に対する補助金支出の枠組みがあり、令和4年度評価費用助成枠組みはこれと競合出来ない
- ・今年度学校協会の決算状況より、今後、令和4年度評価費用助成枠組みの維持は困難が予想される

と報告すると共に、この状況を打開するため、

- ・公益事業の「学校運営改善等助成事業」について、柔道整復師の職域、教育等に関する分野の研究に加えて、教育の質保証向上に対する取組み（以下、「教育の質保証向上枠」という。）を設ける
- ・「学校運営改善等助成事業」の近年の交付決定実績を勘案し、教育の質保証向上枠は事業総額500万円中300万円と設定、一件当たりの交付額上限は75万円とするとする案を提案。

これに対し理事会の議論では、

- ・事例報告数が多数の場合、交付上限額75万円を大幅に下回る事例となり、この場合、会員校より不均衡との意見提起が予想される
- ・東京都及び大阪府以外の会員校に交付対象を特化してはどうかとの意見が出された。

これ等の意見を踏まえ、谷口会長は、

- ・本日は関口副会長提案を取組みの大枠とすることについて了承を求めたい
- ・今後も本取組みについては幅広に意見を求めたいと発言。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事の過半数の賛成でこれを承認可決した。

報告事項

①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（5月、6月）の件

谷口会長及び関口副会長から、5月及び6月における職務の執行状況等を報告。

事務局長から、5月及び6月の各委員（部）会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

②第2号報告 各委員会等

ア. 教育支援委員会教科書部会

齊藤理事から、学校協会監修の解剖学及び外科学教科書の改訂に関し、4月23日に開催した部会概要、また、今月14日に行った出版社（株式会社南江堂及び医歯薬出版株式会社）との打合せ概要、について報告。

イ. 教育支援委員会教員研修等部会

伊藤理事から、今年度教員研修会の開催準備状況、また、未定の来年度主幹校について検討を行う部会を今月23日に開催予定、と報告。

ウ. 教育支援委員会専科教員認定講習部会

奥田理事から、今月12日に実施した受講試験について、東京会場が24名受験し合格者は23名、大阪会場は26名受験し合格者は25名だったと報告。

続いて同理事から、従来のA3サイズからA4サイズに修了証書の様式を変更したいとする案、また、実務経験4年で受講した者が実務経験5年を満たした際の修了証書交付申請受付期間を、5月15日から同月31日及び12月1日から同月15日までの間とする案、の二案について緊急上程の申し出があり、議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

エ. 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

齊藤理事から、今月29日に部会を開催する予定と報告。

オ. 広報・調査委員会

大麻理事から、入学者の構成に関するアンケート調査の進捗状況について報告。

カ. 柔道委員会

廣岡理事から、4月25日に開催した委員会の概要について報告。

キ. 組織運営委員会

6月26日に委員会を開催する予定と報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

③第3号報告 関連団体

ア. (公財) 柔道整復研修試験財団

関口副会長から、常任理事会の概要について報告。

谷口会長から、6月13日に評議員会が開催される予定と報告。

イ. (一社) 日本柔道整復接骨医学会

伊藤理事から、来年度の学術大会は岡山県で開催決定と報告。

谷口会長から、同学会理事候補者として、学校協会からは紙谷 武先生を、また、日本柔道整復師会は石原 誠先生を推薦したと報告。

ウ. (公社) 日本柔道整復師会

無し。

エ. (一社) 柔道整復教育評価機構

関口副会長から、昨日開催した理事会で、令和5年度事業報告と決算報告が承認されたと報告。

オ. 全国柔道整復師統合協議会

関口副会長から、本日午前中に開催した同協議会役員と当学校協会役員との意見交換会の概要について報告。

カ. 厚生労働省

無し。

キ. 文部科学省

関口副会長から、学校教育法改正及び高等教育の修学支援新制度の在り方検討会議の動向について報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

④第4号報告 その他

事務局長から、事務局長採用希望者の応募状況等について報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和6年5月17日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印

令和6年度 第1回教育支援委員会教科書部会 解剖学改訂小委員会 議事録

日 時 令和6年4月23日（火）13:00～14:30
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会 / ZOOMによるオンライン会議
出席者 対面参加 3名、オンライン参加 5名

教科書改訂のコンセプトとして、国家試験の内容を網羅できていることを前提とし、前回の会議で上がった「柔道整復師に必要な○○」を踏まえたうえで、改訂作業を進めていくこととした。

解剖学の教科書においては「柔道整復師に必要な○○」に該当するのは、「2 運動器」がこれにあたるとの意見があがり、この項目について追加が必要かどうかを検討していくこととする。

また前回の会議で聴取した各校の解剖学の単位数を踏まえた現行教科書のボリュームについては、各校にて解剖学の担当者が、必要な部分を選別して授業を行っているため、ボリューム自体の大きな変更は必要ないとの意見であった。但し「9 映像解剖」については、整形外科や医用画像の教科書において、その内容が網羅できるため、削除する方向で検討していく。

その他の章の改訂の方向性については、今後加筆が必要な部分と削除可能な部分を委員会で検討していくこととする。また、前回の会議で上がった挿絵の変更については、イラスト解剖学の著者である松村譲児先生にご協力が得られるかどうかの打診を齊藤理事が行うと同時に、QRコードを用いた画像の活用が可能かどうかも含めて検討していく。

上記内容から以下、の4点を解剖学教科書改訂の骨子として、医歯薬出版との打ち合わせを行っていく。

- ①「2.運動器」の内容の見直しを行い、柔道整復師として必要な項目を追加
- ②「9.映像解剖」の削除
- ③その他の項目の必要個所と不必要個所の選別
- ④必要に応じた、挿絵の変更及び追加

※使用する挿絵は今後検討

以 上

令和6年度 第1回教育支援委員会教科書部会 外科学改訂小委員会 議事録

日 時 令和6年4月23日（火）15：00～16：30
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会 / ZOOMによるオンライン会議
出席者 対面参加 3名、オンライン参加 5名

教科書改訂のコンセプトとして、国家試験の内容を網羅できていることを前提とし、前回の会議で上がった「柔道整復師に必要な○○」を踏まえたうえで、改訂作業を進めていくこととした。

外科学の教科書は、総論と各論という大見出しで構成されており、各論に関しては「2022国家試験出題基準」に含まれない項目が教科書に含まれているため、この部分をどのように考えていくかということが、前回までの会議で挙げられていた。今回の会議にて「出題基準から外れているところ」「一般臨床医学の教科書と重複するところ」「柔道整復師にとって明らかに必要が低いところ」の3点を基準として、該当箇所を削除するかどうかについて検討したところ部員からは以下のような意見が上がった。

- ・ 出題基準から外れる項目については削除してもよい。
- ・ 必要な内容であったとしても一般臨床と明らかに重複する部分は削除してもよい。
⇒削除するに際し、柔整理論（第6版）と柔整実技にあるような『柔道整復学・実技編 改訂第2版 P○○を参照』などの形で対応するのはどうか。
- ・ 柔道整復師としては必要なくても、医療従事者として必要な項目は残しておく方がよい。
⇒上記を残すにあたっては、他の教科書にあるような巻末の付録のような形にしてはどうか。

各論に関しては、これらの意見を踏まえ今後検討を進めていく。

総論については、どの項目についても国家試験の頻出となっており、各論のような大幅な改訂は必要ないと思えるが、各校の外科学担当の講師のアドバイスをいただきながら、明らかに内容が古くなっている部分などを改訂していく必要がある。また「出題基準から外れているところ」「柔道整復師にとって明らかに必要が低いところ」であったとしても、医療従事者として知っておいてほしい内容や外科学ならではの視点で記載されている部分は、慎重に精査したうえで残すべきか、削除すべきかの必要性を検討していくこととする。

以 上

令和6年度 第1回教育支援委員会 教員研修等部会 議事録

日 時 令和6年5月23日（木）14：00～16：00
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会
出席者 3名

議 題

- (1) 2025年度以降の教員研修会主幹校選出について
- (2) その他

会議内容

定刻となり伊藤担当理事の挨拶後、議事へと進行した。

- (1) 2025年度以降の教員研修会主幹校選出について

3月に実施した主幹校募集のアンケート結果について、以下の結果であったことが報告された。

【その1】主幹校募集の結果（回答33校）

第67回（2025年度）	なし
第68回（2026年度）	森ノ宮医療専門学校（大阪）
第69回（2027年度）	なし
第70回（2028年度）	明治東洋医学院専門学校 専門学校沖縄統合医療学院
第71回（2029年度）	明治東洋医学院専門学校 九州医療スポーツ専門学校

※「主幹校の業務の説明を受けてから検討したい」

- ・河原医療福祉専門学校 ⇒ 4/10（水）説明（zoom）を実施。
（参加者：水野先生・伊藤理事・葉山部会長・桑野副部会長）

※前向きに検討中。但し、来年度はご遠慮したい。

- ・日本柔道整復専門学校 ⇒ 4/22（月）説明（zoom）を実施。
（参加者：山口先生・伊藤理事・葉山部会長・桑野副部会長）
※5/10回答 今回のご遠慮したい旨
- ・専門学校沖縄総合医療学院 ⇒ 5/1（水）説明（zoom）を実施。
（参加者：登崎先生・葉山部会長・桑野副部会長）
※2028年度を希望
- ・森ノ宮医療学園専門学校 ⇒ 5/13（月）説明（zoom）を実施。
（参加者：由良先生・外林先生・桑野副部会長）

【その2】 アンケート結果

①教員研修会の講演で取り扱ってほしいテーマ

- ・国家試験合格率UPに向けての策（実践していることなど）
- ・学力低下における教授方法、休退学防止について
- ・退学や休学を抑制する方策について
- ・これからの時代に求められる柔道整復師の形とその教育方法
- ・柔道整復師の未来について
- ・モチベーションアップの方法。オンライン授業技術的な方法について。
- ・学習障害を抱える学生への指導、学生のモチベーション教育
- ・カウンセリング技法、交渉術など
- ・新カリキュラム、第三者評価

②教員研修会についてご意見、ご要望

- ・以前、主幹校をやらせていただき、非常に勉強になりましたが、現在マンパワーが足りず、お受けすることが厳しい状況です。
- ・2018年8月品川プリンスホテルで行われた全国教員研修会では、主幹校を担当いたしました。
- ・これからの柔道整復教育に必要となる知識、技術についてディスカッション形式などでいろいろな意見を聞いてみたいです。
- ・オンライン形式での開催を希望
- ・開催地域は7地方、8地方などを毎年回して、部会が運営補助を行っていくなどが良いと思います。

【その3】来年度（2025年度）の教員研修会について

第1候補として、大阪、明治東洋医学院専門学校にお願いしたいがどうか。

但し、大阪万博（期間：4/13～10/13）を考える必要があり、会場・宿泊施設の確保がどうか。

第2候補として、地方での開催を検討する。

→6月の理事会で諮っていただく。

(2) その他

今後の研修会（運営方法）について下記内容を今後、理事会に提案する。

- ・主幹校の役割を変更する。

- ブロックの学校にテーマに沿った講師の依頼をする。

- ・ブロックに分けて順番に回す

- （北海道・東北、関東、東海北信越、近畿、中国・四国、九州）

- ・運営は部会で行う。

- 役割としては会場決定、運営会社の選抜（入札方式）、当日の運営

- ※最終は理事会で承認をとる。

- ・宿泊は参加者で予約してもらう。来賓や講師に関しては部会でとるのも一つの案とする。

- ・2026年（第68回大会）に向けて、柔道大会と一緒にやることを検討してはどうか。

メリット：経費削減、OC等学校行事と重なるのを低減できる、教員が両方参加しやすくなる。

デメリット：運営が煩雑になる可能性。研修会と柔道大会の会場が離れる可能性がある。

次回、部会開催日（6月20日）までに以下について準備することとした。

- ・運營業者に見積り、6/20に運営に関するプレゼンをしてもらえるか調査

- ・会場の空き状況調査

- 福岡県：福岡国際会議場ほか

- 広島県：広島コンベンションホールほか

- 宮城県：仙台国際センター、TKPガーデンシティ仙台ほか

- ・講師選定の具体例の作成（サブテーマ作成→開催ブロック校に依頼）

次回部会の開催日時について6月20日（木）14時と確認し閉会した。



令和6年度 第1回教育支援委員会 専科教員認定講習部会 議事録



日 時	令和6年4月10日（水）14：00～15：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会事務局
出席者	9名

議 題

- (1) 令和6年度専科教員認定講習会受講願書書類の審査
- (2) 実務従事および経験年数の定義について
- (3) その他

配布資料

東京会場と大阪会場の受講試験出願書類

※上記の資料は会議終了とともに回収した。

令和6年度専科教員認定講習会実施スケジュール

会議内容

- (1) 東京会場と大阪会場の受講願書書類の審査
 - ・ 令和5年度は実務経験の職種・時間を問わず、5年の経過があれば受験を認めた。
 - ・ 令和6年度は4年の実務で出願しているため、労基法での就労時間の目安である40時間/週を出願を認可する時間数の基準とした。
→対象となった東京会場の6名と大阪会場の11名の願書を精査したところ、資格取得後5年の経過を有していたり、4年を超える実務経験を有する場合も40時間/週を満たしており、特に出願書類での受験を認められない事例は無かった。
- (2) 実務従事および経験年数の定義について
 - ・ 次回理事会において受講条件として、週あたりの勤務日数および勤務時間、常勤か非常勤か等に関する条件を定めて募集要項に明記するかを審議することとした。
- (3) その他
 - 5月14日（火）の受講試験合否判定会議は15時から受講試験問題の精査、16時から判定会議を開催することとした。

以 上



令和6年度 第2回教育支援委員会 専科教員認定講習部会 議事録



日 時	令和6年4月15日（月）14：00～16：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会事務局
出席者	4名

議 題

- (1) 受講試験問題の策定について
- (2) 専科教員認定講習部会スケジュールの確認について
- (3) 試験委員の人選について
- (4) その他

配布資料

- 資料①受講試験問題（案） ※会議終了後に回収した。
- 資料②令和6年度専科教員認定講習会実施スケジュール（予定）
- 資料③試験委員一覧
- 資料④東京会場主幹校からの質問

会議内容

- (1) 学科試験の策定について
 - ・ 受講試験問題（案）の53問として部員各々が13問ずつ作成し3月末日までに事務局に提出した。
 - ・ 提出された試験問題を学校協会事務局が基本的な書式の統一、問題順の整理、誤字・脱字の訂正などをおこなった。
 - ・ 部員で作成担当外の試験問題を閲覧し、53問中から適正とされる50問を選定し、最終確認として試験問題の体裁を整えた。
- (2) 専科教員認定講習部会スケジュールの確認について
 - ・ 5月14日（火）の第3回専科教員認定講習部会日程が、東洋療法学校協会の会議と重複するため、15時～問題精査、16時～合否判定会議に開始時間を変更した。
- (3) 試験委員の人選について
 - ・ 東京会場の受講試験（東京医療福祉専門学校）の総括者は奥田担当理事が選任された。
 - ・ 同じく東京会場の小論文採点担当に伊藤理事が選任された。

- ・ 同様に東京会場の面接試験担当に奥田担当理事が兼任され、昨年度担当された永野先生（新宿医療）、山口委員（日本柔道）、川口先生（大宮呉竹医療）に依頼し、残り2名を試験会場の東京医療福祉専門学校に選出依頼をすることとした。
- ・ 大阪会場の試験委員は概ね昨年度と同様にしたが、面接試験担当に関西医療学園専門学校から1名の選出を依頼し、試験会場の平成医療学園専門学校からも1名の選出を依頼することとした。

(4) その他

①会場費について

各校の設定費が多種多様であるため、一律¥20,000/日とすることを理事会で諮ることとした。

②受講試験の詳細について

採点結果に必要な資料など、今後の実施に向けて細則に明記していくことを確認した。

以 上



令和6年度 第3回教育支援委員会 専科教員認定講習部会 議事録



日 時	令和6年5月14日（火）16：00～17：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会会議室
出席者	5名

議 題

- (1) 受講試験の合否判定について
- (2) その他

配布資料

- (1) 受講試験成績一覧表
- (2) 受講試験問題解答付 ※会議終了後に回収した。
- (3) 成績集計分析データ（会場毎に得点順・受験番号順の結果一覧、問題毎の正答率・識別係数等の結果一覧） ※正答率の分析後に回収した。
- (4) 令和6年度専教院認定講習会実施スケジュール

会議内容

合否判定会議前に受講問題の精査をおこない、東京と大阪の各会場での正答率20%未満の3問について正答を確認したが、特に正答の変更は無く、採点通りの結果で判定会議に臨むこととした。

東京会場：学科試験報告書より

受験希望者24名、欠席者0名で受験票忘れは無かった。小論文試験の開始時に数分の遅刻者が1名いたが、試験中の離席・問題に対する質問・不正行為も無かった。

大阪会場：学科試験報告書より

受験希望者26名、欠席者0名で遅刻、受験票忘れは無かった。しかしながら、集合時間に遅刻する受験者が14名もあり、開講式時に注意喚起を促すこととした。

- (1) 受講試験の合否について

- 1) 東京会場（受験者24名、欠席者0名）

小論文試験、学科試験、面接試験の総合点で合格者を選抜し、

合格者23名が決定した。（学科平均65点・小論文平均67.8点・面接平均86.7点）

2) 大阪会場（受験者26名、欠席者0名）

小論文試験、学科試験、面接試験の総合点で合格者を選抜し、

合格者25名が決定した。（学科平均68点・小論文平均61.9点・面接平均88.4点）

両会場で合格者の総計48名が決定した。但し、学科60点未満の者には修了試験へ奮起を促すコメントを添えて通知することとした。

(2) その他

1) 修了証書について

従来のA3で1枚の証書から、内容を2つに分けた、A4で2枚の証書（厚労省医政局長名の修了証と学校協会会長名の認定証）へと変更することを、理事会に提案することとした。

2) 実務経験4年での受講生（受講資格B）の認定書類一式の申請日時について

令和7年5月15日～31日に修了認定の申請に必要な書類を揃えて事務局に申し込むこととした（後期からの講義が可能）。

何らかの事情により令和7年5月31日までに、実務経験を満たさなかった場合は、令和7年12月1日～15日までに限り申請を受付ることとし（翌年前期からの講義が可能）、規約には「受講資格Bの者の修了認定申請期間は、受講した翌年の5月15日～31日および12月1日～15日とし、この期間以外の受付はしない。」と明記することを理事会に提案することとした。

3) 受講者書類一式の送付日時

従来より1週間早めて主幹校への送付を5月24日（金）とした。

以 上



令和５年度 第２回教育支援委員会 柔道整復師国家試験模擬試験部会 議事録



日 時	令和６年３月１４日（木）１４：００～１５：３０
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会 オンライン会議
出席者	９名

議題

- （１）令和５年度実施報告
- （２）令和６年度実施計画の検討
- （３）その他

配布資料

- （１）令和５年度 第２回「柔道整復師国家試験」模擬試験部会会議次第
- （２）模擬試験実施後アンケート結果
- （３）模擬試験問題に対する質問表

会議内容

- ・ 齊藤担当理事より会議開催に際し挨拶があった。
- ・ 続いて、事務局長より、２月１６日に開催された理事会における模擬試験事業（以下、「当事業」という。）に係る審議概要について、
 - ① 当事業の公益事業化申請を内閣府に行うにあたり当部会に対し、令和６年度実施の前に今年度を含め過去３年間の実施状況を分析し問題点等抽出を行う様指示があった
 - ② 当事業の公益法人化を見据え令和６年度以降の受験料は、会員校（受験生１人０円→１,０００円（税抜き））、非会員校（受験生１人２,０００円→３,０００円（税抜き））に値上げ変更するとの報告があった。

議題

- （１）及び（２）について並行して議事進行をした

- ① 令和５年度実施報告（杉山）

配布資料：模擬試験実施後アンケート結果について報告があった。

- ② 齊藤担当理事より

令和６年度模擬試験実施校増加を目的とした模擬試験に関するアンケートを実施する旨の説明があった。

アンケート実施について

- 模擬試験料（会員校一人1,000円、非会員校一人3,000円）を明示し実施する。
- アンケート先は模擬試験非参加校を含め柔道整復師養成施設（大学含む）に対し実施する。参加校増加を目的とし過去参加しなかった理由を掘り起こす。
- 過去3年間模擬試験を実施した経緯を説明し実施する。稲岡先生より過去3年分の資料提供があった。

① 模擬試験に関わる経費について

- どのような成績データが必要か、成績データの返却に要する時間等により必要経費が変わるため今回行うアンケートの結果をみて検討することとした。

② 模擬試験問題について

- 過去3年間作問担当の変更がなかったので作問担当を変更する。
- 作成された問題に対して最終的な確認は委員の先生方全員にお願いしたい。

模擬試験問題作成方針（案）

- ◇ 国家試験過去問題そのままの出題は原則なしとする。
- ◇ オリジナル問題を20%程度とする。
- ◇ その他アンケート結果を勘案し検討する。

次回は令和6年5月月末開催予定とし会議終了とした。

以 上



令和 6 年度 第 1 回広報・調査委員会 議 事 録



日 時	令和 6 年 4 月 16 日（火）14：00～16：00
会 場	ZOOMによるオンライン併用会議
出席者	10名

議 題

- (1) 前年度及び前回委員会議事録の確認
- (2) 広報業務について
- (3) 調査業務について
- (4) その他

配布資料

1. 令和 5 年度第 1 回広報・調査委員会230418・令和 5 年度第 4 回広報・調査委員会議事録240116 資料 1
2. 柔道整復学校協会会報誌掲載順リスト240401更新 資料 2
3. 会報誌第71号裏表紙用専科教員認定講習会ポスター 資料 3
4. 教員紹介リレー会報誌第70号掲載内容 資料 4
5. 会報誌第71号目次案 資料 5
6. 卒業生のキャリア ホームページPDF掲載見本 資料 6
7. 令和 6 年度入学者の構成に関するアンケート調査 資料 7
8. 令和 6 年度広報・調査委員会事業計画書 資料 8
9. 令和 6 年度第 1 回委員会開催計画書案 資料 9
10. 教員紹介リレーの運営について 資料10
11. 令和 6 年度入学者調査アンケートスケジュール（案） 資料11

会議内容

冒頭、大麻担当理事から挨拶及び各委員から各校の近況の報告を行った。

- (1) 前年度及び前回委員会議事録の確認

資料 1 を参照し、前年度の第 1 回委員会議事録及び前回の委員会の議事録を確認した。

(2) 広報業務について

会報誌第71号（令和6年7月発行予定）について

- ①資料2を参照し、「わが街の見どころ聞きどころ」担当校の河原医療福祉専門学校への依頼について確認した。編集後記は、四国医療専門学校の鹿庭副委員長が担当する。

原稿の提出締切りは、6月15日までとする。

片橋委員から、編集後記の担当について、委員の変更や任期終了後の対応について質問があり、廣木委員長から、委員の変更等に応じて、掲載順リストを修正して対応する旨の返答があった。

- ②資料3を参照し、裏表紙用の専科教員認定講習会の募集案内を確認した。令和6年度の募集は終了しているため、内容を変更して掲載する。表紙色に合わせてブルーに変更する。

合わせて、永田事務局長から令和6年度専科教員認定講習会の申し込み状況について報告があった。

- ③資料4を参照し、第70号教員紹介リレーの掲載内容及び第71号の寄稿者（履正社国際医療スポーツ専門学校 青木孝至先生）について確認した。

佐藤委員から、第71号の寄稿者の推薦を受けた際に、寄稿者の変更が生じる恐れがある旨の連絡も受けていたが、現時点での変更の連絡は無く、予定通り掲載の準備を行っているとの報告があった。

- ④資料5を参照し、目次案を確認した。

永田事務局長から、6月の役員改選に伴い、新役員の挨拶の記事掲載について報告があった。

卒業生のキャリア（ホームページ掲載内容）について

令和6年4月時点における新規加盟校が無いため、掲載の予定はなし。

大麻担当理事から、退会校の削除、学校名変更に伴う修正、掲載者情報の確認と更新について意見があり、これらの対応について協議した。

佐藤委員から、掲載時の情報を示す文言を挿入すれば、確認と更新作業は必要ないのではないかと意見があった。

大麻担当理事から、作業労力を考慮すると適当な対応であるとの返答があり、更新作業は行わずに、掲載時の情報を示す文言を挿入することで承認された。文言の挿入作業は、退会校の削除、学校名の変更と合わせて、廣木委員長と永田事務局長が対応する。

また、大麻担当理事から、作成時から一定の年数が経過しているため、全校の掲載内容を更新することが提案された。

次年度の更新に向けて継続して検討することとなり、掲載内容を更新する場合は、委

員から担当者を選任する。

(3) 調査業務について

令和6年度入学者の構成に関するアンケート調査について

資料7を参照し、鹿庭副委員長から、アンケート改訂の最終案について修正点、変更点の説明があった。確認した結果、最終案を利用することで承認され、今年度の調査から改訂版アンケートを利用する。

また、資料11を参照し、調査スケジュールについて確認した。前年度と同じスケジュールで実施することの報告があり、参加校を対象とした事前アンケートは5月中旬頃、新入生を対象としたアンケート調査は6月中の実施について確認した。

アンケート終了後の集計作業とグラフ化作業は、8月中の完了を予定している。

大麻担当理事から、アンケート調査を開始してから15年経過しており、可能であれば経年でのグラフ化を予定しているとの報告があった。

(4) その他

教員紹介リレーの運営について

資料10を参照し、現在の教員紹介リレーの運営について確認した。

佐藤委員から、運営上の課題として、次号執筆者の推薦の時期、次号執筆者が決まらない場合の対応、原稿提出後の校正の対応について説明があり、これらの改善について協議した。

大麻担当理事から、次号執筆者が決まらない場合の対応として、委員会所属校の教員に協力を頂き、毎号の掲載を維持することが示された。

永田事務局長から、運営状況について追加報告、及び以下の運営上の改善点が示された。

- ・原稿提出後の校正については、印刷業者から提出される初稿を執筆者が確認することとする。
- ・次号執筆者の推薦の時期については、執筆の依頼と次号執筆者の推薦依頼の機会を分けず、執筆と次号執筆者の推薦を同時に依頼することとする。

次回広報・調査委員会について

令和6年度第2回広報・調査委員会は、令和6年7月16日（火）14時から16時にZOOMによるオンライン併用にて開催する。

議題として、会報誌第72号について、卒業生のキャリア（ホームページ掲載内容）について、入学者の構成に関するアンケート調査について、他を予定している。



令和6年度 第1回柔道委員会 議 事 録



日 時	令和6年4月25日（木）14：00～16：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会 会議室
出席者	6名（委員5名）

議 題

- (1) 大会形式について
- (2) 大会係員分担について
- (3) その他

会議内容

- (1) 大会形式について
 - ・ 例年通り男子5人制、男子3人制、女子3人制で行う予定だが参加校アンケートを実施し参加校の数により形式を検討していく。
 - ・ 参加校が少なすぎた場合には個人戦も考えていく必要がある。
 - ・ 形演武参加人数に制限をかけていないが参加校アンケートの結果、参加人数が多い場合には各校の参加人数を制限する必要がある。
 - ・ 体重の軽い選手から並べた配列で試合を行うが、相手チームから体重についてクレームがでた場合には計量を行い選手の体重を確認し、体重順に並んでいなかった場合には並び替えを行う。
 - ・ 大会組合せは抽選会が終わり次第、学校協会HPにてお知らせする。
- (2) 大会係員分担について
 - ・ 各部署の担当は引き続き前年度と同じで行う。長坂先生には進行係、式典・会場係を担当してもらう。
 - ・ 経費削減を考え今後、係員派遣人数、謝金の検討を行っていく。
 - ・ 来賓席の場所がわからない先生がいたので来賓席を明確に分かるよう会場見取り図に記載し、また来賓の先生の出欠確認アンケート用紙と来賓席の場所がわかる用紙を同封する。
 - ・ 例年、お弁当引換券を名札の裏に入れて配布していたが、お弁当引換券に気づかない来賓の先生がいたので受付時に手渡しで引換券をお渡しする。

- ・前年度、事前に配布したパンフレットを持参しない先生方が多かったため当日配布するパンフレットが不足してしまった。パンフレットの不足を防ぐために事前配布をせず当日に配布する。
- ・審判員の謝金を昼休憩時に渡していたが一斉に食堂に来るため謝金を渡すのに混乱するので、朝の審判会議時に渡し混乱を防ぐ対応をおこなう。
- ・トロフィー受け渡し間違いを防止するため最優秀選手、優秀選手のトロフィーのプレートに各部の記載を辞め共通のトロフィーにする。
- ・形演武の盾には受・形の氏名を記載する。

(3) その他

- ・非会員校の女子3人制の参加費が3万円に対し男子5人制・3人制が4万円の参加費だったため女子の部参加費を男子参加費と同じ4万円に変更する。
- ・観覧席で着替えをおこなう際は速やかに着替えを済ませ、裸の状態では試合を観戦したりしないように監督会議で伝える。また、男子は観覧席が更衣場所となっている旨を審判会議で周知していく。
- ・選手宣誓を男子5人制の優勝チームだけでなく隔年で男子5人制→男子3人制→女子3人制と順番に回していく。今年度は女子3人制優勝チームの選手にお願いする。

『大会規定の変更』

下記の規定を変更する。

第5条

- (3) 男子3人制は監督1名、選手4名とし、うち1名を補欠とする。
- (4) 女子3人制は監督1名、選手4名とし、うち1名を補欠とする。

第9条

国際柔道審判規定によって行う。

- 3 出場選手は必ず所属のゼッケンを縫い付け、男子は黒字、女子は赤字とする。

第11条

- 3 審判員は公益財団法人全日本柔道連盟B級ライセンス以上の審判員の中から選出しなければならない。

以 上



令和6年度 第2回柔道委員会 議 事 録



日 時	令和6年6月7日（金）14：00～16：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会 会議室
出席者	7名（委員6名）

議 題

- (1) 大会準備について
- (2) 大会運営について
- (3) その他

会議内容

- (1) 大会準備について (2) 大会運営について

【アンケート集計結果】

- ・男子5人制14校、男子3人制14校、女子3人制14校、形演武14校の参加希望があった。
不参加校の理由について『選手がいない』が10校、『選手が足りない』が5校、その他の理由として『試験期間中のため』、『学校業務のため』との回答があった。

【試合形式について】

- ・前年度と参加校数がほぼ変わらないため前年度と同じリンク戦の4会場で行うこととした。
- ・形演武の出場数が前年度より増えたため3回に分けて演武を行う。今後、参加数が増え続けると試合時間に影響がでるため各学校の形演武出場数に制限をかける必要がある。来年度以降、様子を見て検討していく。

【係員派遣について】

- ・経費削減のため係員を最小人数で調整していくこととした。

【審判員依頼について】

- ・1試合場6名の審判員で行うことにし計24名の審判員で調整し、謝金については交通費込みで1万円を支給する。
- ・審判長は下地先生に依頼する。

【前日準備について】

- ・研修室の設営は15時から行う。

【審判・監督会議について】

- ・監督会議は大会前日の16時から行い、審判会議は大会当日の9時15分から行う。

【パンフレットについて】

- ・今年度から製本での配布を止めPDFで配信を行うこととした。7月末に学校協会HPで配信を行う。

(3) その他

【令和7年度柔道大会について】

- ・令和7年度東京武道館優先予約を下記日程で申し込みすることとした。

第1希望：8月 3日（日）

第2希望：8月 2日（土）

第3希望：8月 5日（火）

第4希望：8月 6日（水）

第5希望：8月19日（火）

以 上



「～東風吹かば雨水待つ山うつろひて いよいよおもひ瀬戸のかなたへ～」

河原医療福祉専門学校
柔道整復師科 水野 晋悟

～熟田津の船乗りせむと月待てば 潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな～
「熟田津（現松山市三津浜）へ向けて船出をしようとして月を待っていたら、潮流もちょうどよくなってきたので今すぐ漕ぎ出そう」という、万葉集の歌ゆかりの地、愛媛県松山市。

縁あって私は河原医療学園専門学校に勤めることとなり、イザナギとイザナミの時代より「愛比売（うるわしき女神）」と称されたこの地に初めて訪れたのは1月も終わりにさしかかる、ある寒い日の夕方でした。羽田空港出発時には「強風のため出発空港への引き返しの可能性」がアナウンスされており、空からは時間の経過とともに少しずつ深紅に染まっていく島々を眼下に収めつつも、かつて経験したことのない激しい乱気流に巻き込まれ、誰もがイメージする瀬戸内海とは真反対な荒れた海の上をすり抜けて、かろうじて虫の息となって三津浜近くの松山空港に降り立つという、乗り物は違えど額田王が詠まれた飛鳥の御代とほぼデジャヴであろうと思われるシチュエーションから、私の「伊予物語」リアル体験が始まりました。

物語がスタートすると一転、高速道路を使わずともたった10分で行くことのできるアクセスの良さに安堵し、愛媛県が日本一の収穫量を誇る真鯛を使った「鯛めし」に舌鼓を打ち、翌日には小高い丘の上にそびえ、全国に残る現存12天守のうちのひとつ「松山城」に登城し、いにしえよりその名を轟かせるpH9.6というアルカリ性が強い源泉によって肌の角質が溶け出すことで高い粘度を感じることできる「道後温泉」で至福の時間を過ごしました。なお、ここは全国に名立たる文学の街ということもあり、私もいにしえの方々に倣って、この地に踏み入れた当時を振り返り、このときの松山の情景や期待感を今回の寄稿のタイトルといたしました。

もちろん、誰もが知る「観光地松山」の体験は「物語の序章」に過ぎず、松山市の本当の実力を知ったことにはなりません。住み始めてからかれこれ2年半、もともと他県民であった私ですが、時間が経つごとに見えてきたもののうち、その一部を紹介します。

- ・松山ビギナーにとって「駅での待ち合わせ」は困難を伴う（出会えない場合にはたぶん「松山駅」と「松山市駅」のどちらかとなる約2km離れた先に相手が待機）。
- ・他県民には理解不能な「謎のローカル道路ルール」が存在する（一例に「伊予の早曲がり」と言われる複雑怪奇な運転技術）。
- ・西日本一の高さを誇る「石鎚山」を愛媛県民誰もが崇める（「石鎚山の神様に守られとるけん、台風なんてこんわい」といった科学的根拠に乏しく聞こえてしまう伝説の伝承）。
- ・観光の目抜き通りでは「みかんジュースを注ぐことができる蛇口」が数メートルおきにみつかる（まさかの他県民垂涎リアル都市伝説の存在）。
- ・「甘ければなんでも旨い」が市民一人ひとりの味蕾や脳の細胞レベルにまで浸透している（うどんやラーメンのみならず味噌汁やスパゲッティまで松山ナイズされたスイートな味付け）。
- ・「松山野球拳おどり」なる四国四大祭りの一つに数えられる夏の風物詩がある（老若男女が参加できる由緒正しい伝統行事）。
- ・球場から団子まで施設や商売になりそうなものには何でも「坊っちゃん」「マドンナ」という名称をつけまくる（ゴルフコンペの名称にも「ぼっちゃん杯」とつけるのは縁起にはならないはず）。
- ・市内中心部を縦横無尽に「年中無休であなたがだいすき！」「おかあさんはしんごうき」といった、奥が深いあまり理解するのに時間がかかるメッセージを側面に掲げて路面電車が疾走する（同じ線路には鉄道好きの子供たちと、「事業継続のジレンマ」を抱えた大人たちの事情を乗せて、「坊っちゃん列車」も行き先迷走しながら疾走中）。

現在、そのような飽きることのないディープな「伊予物語」の舞台を楽しんでいます（念のためお気づきのこととは思いますが、「伊予物語」なる小説も和歌集も実際にはありません）。

もちろん「物語の序章」だけでも、間違いなく満足していただける旅をお約束できます。魅力あふれる愛媛県松山市へ是非お越しください！！



松山市では東予地方に伝わる炊き込み式と、南予地方に伝わる刺身+卵かけご飯形式の、両方の鯛めしが味わえる。写真は南予式の「宇和島鯛めし」。



桜の松山城。愛媛県内では他に宇和島城も現存12天守に該当（2城あるのは愛媛県だけ）。県内には天守閣がある城が全部で5つもあるので、城好きの方にはたまらないはず!!



外湯めぐりの中でも最も歴史の深い道後温泉本館。

長い長い工事期間を経て、待ちに待ったリニューアルが完了します!!



夏目漱石の小説に登場する明治の時代さながらの「マッチ箱のような汽車」を再現した坊っちゃん列車。

但し外観上見えないところは令和仕様になっているので、煙は一切出てきません!!

★第7回★ 教員紹介リレー

履正社国際医療スポーツ専門学校
柔道整復学科教員 青木 孝至

(大阪府大阪市出身)



こんにちは、履正社国際医療スポーツ専門学校の青木孝至と申します。

今回、水野先生（河原医療福祉専門学校）からこのご紹介を受けた際は、還暦を超えた私でいいの？と少し躊躇しましたが、この原稿と向き合う中で、これまでの自分の人生を振り返るよい機会となりました。考えてみたら、いつも目の前の課題に追われて日々奮闘するばかりで、じっくり人生を振り返ることなどあまり無かったように思います。思い返すと、これまで「柔道」や「柔道整復師の先生」の存在が、人生においてかけがえのない大きなものだったと改めて実感しました。

～ 自信を芽生えさせてくれた柔道との出会い ～

私は1963年、アニメ「鉄腕アトム」の放映がはじまった年に大阪市城東区で産声を上げました。母親はドクターから「未熟児でこの子は育たないかもしれない」と告げられたそうので、精一杯の愛情を注いで育ててくれたのでしょう。おかげですくすく育ち、翌年、健康優良児の表彰（当時の制度の下）を受けたようです。物心がついた頃、自宅の壁にその表彰状が飾ってあったので「これ何？」と母に尋ねたら、そのように答えてくれました。

幼稚園に通うようになった頃の私は、人見知りが激しく、運動音痴、引っ込み思案でおとなしい子供でした。授業中に「先生ー、おしっこ！」が言えずお漏らしをしたこともあり、みんなに笑われ、どんどん内気になっていきました。幼稚園の先生もそんな私を心配して、演劇の主役をさせたり、朝礼台で指揮者をやらせたりして、前に出る機会を作ってくれました。先生の優しさはそれとなく感じていたのですが、期待に応えられずダメでした。



愛情深く育ててくれた母



引っ込み思案だった幼稚園時代

小学2年生、体育の授業参観でのこと。授業内容は「縄跳び」でした。母親は息子の姿を楽しみに来てくれました。しかし、私はたった一人、最後まで飛ぶことが出来なくて「母親に恥ずかしい思いをさせてしまった」とひどく落ち込みました。ますます運動嫌いに拍車がかかり、友達もあまりできず、家にこもって絵ばかりを描いていました。今考えると、この時の経験があるから、授業をしていてもクラスでおとなしく目立たない学生の存在が気になってしまいます。

小学3年生の時、転機が訪れました。それが「柔道」だったのです。

当時、ブルース・リーのカンフー映画「燃えよドラゴン」が日本中で大流行しました。私は強くて優しい主人公に憧れを抱き、「こんな僕でも強くなれるかなあ…」と、ふと親に話したところ、近所の柔道教室に連れて行ってくれました（空手教室が近くになかった）。

「自分は運動音痴」と思い込んでいたので最初はあまり自信がなかったのですが、週3日、教室に通ううちに徐々に体力がついてきて、少しずつ強くなっていきました。それとともに、どんどん自分に自信が持てるようになり、性格も明るく変わり、たくさん友達ができるようになりました。また、骨折や捻挫等よく怪我もしました。接骨院を併設している道場でしたので、治療でもお世話になりました。その時、手当てを受けながら「先生は柔道も教えて、ケガも治せるんだあ」と強くて優しい先生に感動したのを覚えています。

この時の柔道や接骨院との出会いが、その後の人生に大きな影響を与えてくれたように思います。

～ 不安定な高校生の心を救ってくれたのは柔道部 ～

小学5年生の時、友達に誘われて野球チームに入りました。当時、ほとんどの男の子は小学校に入ったらすぐ野球を始めました。ずっと運動嫌いだった私は「野球ができればカッコいいなあ」という憧れがあったものの、どうせ自分には無理だと思い込んでいたものですから、5年生になるまでグローブすら手に持ったことがありませんでした。

野球を始めたきっかけは、その頃、読んだ漫画「キャプテン」（ちばあきお作）でした。

ご存じの方もおられると思いますが、野球のあまり上手でない主人公が、学校を帰った後、毎日カゲレンを積んで上手になって活躍するストーリー。その漫画の影響を受けた私は、柔道で少し自信をつけたこともあり、野球もやればできるかもとコツコツ練習を始めました。

徐々に出来ることが増えていき、どんどん野球が好きになっていきました。

毎日、野球をやるのが楽しくて、中学生では野球部に入部しました。

ところが、顧問の先生は理不尽な厳しさがあり、先輩からは体罰もあって、だんだんと面白くなくなっていました。自分の心の弱さもありますが、指導者によって自分の気持ちもこうも変わってしまうのか…と残念に感じました。

また、その頃、両親が離婚。母親に引き取られることになりました。多感な時期で不安

定な心境から、母親に対する反抗心が強くなり、罵声を浴びせ、クラブを休んだり、友達の家に行ったまま帰宅しなくなったりすることが増えました。学力も落ち、母親の心配は絶えなかったことと思います。すいぶん母親に迷惑をかけしました。

やがて高校に進学。クラブ活動は柔道部に入部することにしました。小学生の頃の自分に変わるきっかけをくれた柔道。今の悶々とした自分を変えることができるかもしれないと、もう一度柔道に関わることにしました。部員数がとても多く活気のあるクラブで、レスリングの大会にも数多く出場していました。いわば「柔道&レスリング部」という感じ

です。指導してくださる先生の情熱が素晴らしく、部員みんなが自発的に練習に取り込むムードがありました。私自身も目標ができ、仲間とも応援し合える関係ができ、心が安定していきました。中学時代、迷惑をかけてきた母親とも素直に話ができるようになりました。

私は、先生の勧めから主にレスリングを中心に練習することになりました。

毎日の練習はきついけれど楽しく頑張ることができて、おかげで大阪代表としてインターハイや国体にも出場させていただきました。指導者の導き方で意識はこんなに変わるものだ実感しました。母親が「あの縄跳びもできなかった息子が…」と涙を流して喜んでくれました。高校でも「柔道 (&レスリング)」が良い方向に導いてくれました。



高校時代 夢中になったレスリング

～ ボランティア柔整師との出会いが人生を変えた ～

大学はレスリングのスポーツ推薦で進学しました。強くなりたい一心で、ウエイトトレーニングを始めました。当時はまだトレーニングジムやフィットネスクラブなどがあまり無い時代で、クラブには古いダンベルやバーベルしかなかったのですが、図書館で本を借りて学習し、自分の身体で効果を試しました。だんだんと力がついていく自分が嬉しく思いました。それを機に、将来はトレーニング指導に関わる会社に就職したいと思うようになり、4回生の就職活動の末、セントラルスポーツ（株）から内定をいただきました。

その頃、大学生活最後のレスリングの試合が控えていました。しかし、トレーニング中に膝を負傷してしまいました。関節水腫もひどく屈曲が不能で、病院で治療を受けても改善せず、歩行困難が続きました。藁にもすがる思いで、近所の鍼灸整骨院に行くことにしました。すると、悩まされていた膝がどんどん回復していきました。丁寧に対応してくださった先生の姿を見て「すごいなあ、こんな仕事がしたい」と強く思うようになりました。

ただ、就職が決まっていたこと、そして専門学校を通うにもお金がないこと（母にこれ以上、苦労はかけられない）から、とりあえずセントラルスポーツ（株）で働きながらお金を貯め、3年ほどで進学しようと考えました。

セントラルスポーツ（株）ではたくさんのことを学ばせていただきました。幼時から高齢者まで幅広い年齢の運動指導（水泳も）に関わり、それぞれに合ったコミュニケーションの取り方など、これまで同年代しか接点がなかったためすべてが新鮮でした。「クライアントの様々な要望・目的を聞いてトレーニングメニューを作成し、共に頑張り、達成を喜ぶ…」この業務にとってもやりがいを感じました。毎日が充実していて、3年で辞めるつもりだったのが、どんどん月日が経過していきました。少しベテランになると、社員やアルバイトの教育にも関わらせていただきました。伝え方やモチベーションの高め方など様々な壁にもぶつかりましたが、彼らの成長が嬉しく、教育の面白さを実感しました。やがて結婚もし、治療家になる思いはいつの間にか心の奥に押し込められていました。



セントラルスポーツ勤務時代

そんな時、転機がやってきました。阪神淡路大震災です。

当時、私は芦屋（兵庫県）駅前のビル内にあるフィットネスクラブにチーフインストラクターとして勤務していました。その時代の最新鋭のマシンや器具がたくさん導入されていて、プロ野球選手も来る大型施設で、そのような場所で「チーフ、チーフ」と呼ばれることで少し有頂天になっていたのかもしれません。

その矢先に震災が発生。施設は半壊状態。営業は出来なくなりました。しばらくはスタッフと一緒に救援物資を運んだり、炊き出しをしたりしていました。

ある日、避難場所に救援物資を運んでいたら、柔道整復師・鍼灸師の団体がボランティアとして、被災者の方に治療やケアを施しておられました。優しい笑顔で対応されているその姿に大きな衝撃を受けました。「この人たちは、普段はその資格で業を成して報酬をいただき、こういう大変な場面ではその資格で人助けを行っている。私は施設で偉そうにしている、つぶれたら何も為すことが出来なくて、結局、会社や役職がなければ何もできない」と思い、「そうだ、やはり治療家を目指そう！」と決意しました。

この時のボランティア柔整師との出会いが、私をその道に突き動かしてくれました。

～ 専門学生時代から独立開業、柔整専門学校教員に至るまで ～

しばらくして会社を退職し、35歳で専門学校に通い始めました。

最初は暗記すべき事柄の多さに圧倒されました。中学・高校時代はまともに勉強してこなかったので大変苦労しました。まして35歳にもなると、昨日教えていただいたことすら全く出てこないの「これが35歳の脳みそかあ…」と、自分の状況に苦笑しました。

「大丈夫かあ、俺！」と不安がよぎりましたが、治療家になるという強い思いで退職したものですから、このままではいけないと気持ちを切り替え、日々大切にコツコツ学習を積み重ねることを意識して頑張りました。「35歳の脳みそも変化するんだ」と実感しました。

たぶん、これまでの人生で一番勉強した時期だったと思います。

同時に、セントラルスポーツ（株）で教育に関わっていたこともあり、先生の教え方、板書、資料の作り方などがすごく気になり、いろいろ観察していました。また、先生が話される臨床上の成功や失敗談、苦勞された話など、とても興味深く聞きました。もっと聞きたいと思った時は、先生をお誘いし、同級生も連れて一緒に飲みに行きました。身になることがとても多かったです。まさか自分が教員になるとは、この時は微塵も思ってもいなかったのですが、これが後々ひじょうに役立ちました。



専門学校時代 柔道の大会にも出ました

アムス柔道整復師養成学院（現在は廃校）で柔道整復師を、関西医療専門学校で鍼灸師、按摩マッサージ指圧師を取得しました。

在学中から整形外科や治療院などで修業をさせていただきました。こんな年齢の高い弟子を快く受け入れてくださり、たくさんのご指導と貴重な経験をさせていただきました。この時お世話になった先生方には大変感謝しております。

そして、41歳で独立。最初は往診から始めました。その後、スタッフを雇って整骨院を開業しました。その開業前に、治療院に何か一つ特化したものを作りたいと思い、「ストレッチ」を極めようと考えました。ストレッチは「治療はもちろん、リハビリやコンディショニングなどいろいろな分野で、子供から高齢者、アスリートまで幅広い年齢に活用でき、相手に施してあげることでもできれば、やり方を覚えてもらってセルフでやってもらうこともできる。」これを習得して、治療だけでなく予防や治療復帰後のコンディショニング指導などをどんどん展開していこうと考えました。スタッフと一緒にたくさんの講習を受けました。やがてストレッチ講習を開催する機会をいただくようになり、ストレッチに関わる様々な分野の方（スポーツ指導者やフィジカルトレーナーなど）ともつながることが多くなりました。そのご縁でトレーナーの仕事もいただきました。特にボート競技では、大学及び企業チーム、日本代表チームにも関わり貴重な経験をさせていただきました。履正社の柔整は、スポーツ経験者やトレーナーを目指す学生が多く、このようなスポーツ現場の話をするると喜んで聞いてくれるので、この経験はとても役立っております。運動音痴だった小学生の自分は、まさかスポーツ競技に関わる業務をするとは想像もしてなかったでしょう。人生はわからないものだなあと思いました。



ストレッチ講習の仲間



ご縁があり、ボート競技日本代表チームのトレーナーとしてサポート



同時期に、アムス柔整養成学院でお世話になった田中雅博先生（学校協会理事）が履正社に柔整学科長として入職され、「青木、うちで非常勤講師として働かないか？」とお声をかけてくださいました。専門学生時代、田中先生は親分肌で思いやりのある先生でいつも気にかけてくださいました。「この先生のもとで働けるのなら」と喜んで履正社に入れていただきました。最初は非常勤講師として、その後、専任教員として現在に至っております。

～ 履正社で働いて思うこと ～

履正社国際医療スポーツ専門学校で授業をさせていただいてから、もう20年以上になります。いつの間にそんなに年月が過ぎたのか驚くばかりです。

他の学校のことはあまりよくわからないのですが、私が個人的に感じる履正社柔整科の良いと思うところは、まず教員の学生に対する情熱が素晴らしいこと。教員は卒業生が多いので履正社への思いも強く、いつも学生たち（後輩）に対して親身になって対応されています。学生たちは卒業してからも先生方に会いに、よく学校まで遊びに来てくれます。また、外回りの先生方の努力もあり、学生のうちにいろいろな経験をさせてあげたいという思いから実習先が豊富なこと。就職先や卒業生へのフォローもしっかりしています。

教員同士が仲良く、職員室はいつも笑いが絶えない明るい雰囲気です。それぞれが個性的で少々クセもありますが、責任感が強く、お互いを尊重し合える素敵なチームだと思います。この仲間の一員として働かせていただいていることに日々感謝しています。



履正社柔道整復学科の教員

～ 柔整教員としての悩み ～

柔整教員として私の現在の悩みは、やはり学生の教育方法です。

20年以上教鞭をとる中で、学生の価値観や行動様式に顕著な変化が見られるようになりました。かつては開業志向の高い学生が多く、目標の明確さと成功への強い意志に支えられ、少々厳しい指導でも、同じ目標に向かう仲間と支え合いながら頑張っていたように思います。

現代の学生たちは開業への志向が薄れ、個々の価値観が多様化しています。これにより、従来の一律的な指導方法では学生のニーズに応えることが難しくなっています。また、自己肯定感が低い学生が増えており、厳しい指導が逆効果になる恐れがあります。

このような状況下で、学生のニーズに合わせた柔軟な指導方法、自己肯定感を高めるための仕組みづくり、多様なキャリアパスの描き方と学習との紐づけ、そして、学びの楽しさや自己の成長を実感できる仕掛けをどのように授業の中に組み込んでいくか、いつも悩まされています。

最近は、授業の中でアクティブラーニングを積極的に導入し、クラスの仲間同士で「考える」「話す」「書く」機会を増やすように努めています。また、自己肯定感を高めるためには「わかった」「できた」という小さな成功体験を積み重ねる仕掛けが大事だと思います。少しでも自信をつけるためには自宅でもしっかり復習する時間を確保すること。そのため、イラスト入りのサブテキスト（暗記用ノート）やゲーム感覚で取り込める学習アプリなど、自宅で楽しく復習に取り組めるツールを作成しています。教える側もアップデートしていかなければいけないと思いつつ、いろいろ試行錯誤していますが、まだまだ満足できるものはできてはならず日々悪戦苦戦しています。



学生への教育方法は永遠に続く課題です。イラストを描いて作ったサブテキスト・学習アプリ



2024年4月より新校舎に移転

履正社国際医療スポーツ専門学校・柔道整復学科も、今年の4月より校舎が新しくなりました。きれいな新校舎は、学生や我々教員の心にも新たな活力を与えてくれているように感じています。ここが彼らの夢を育む温床となるよう、微力ながら頑張りたいと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

～ 次回は… ～

次回は、近畿医療専門学校の藤原光先生にバトンをお繋ぎしたいと思います。
私と藤原光先生は、柔道整復師養成専門学校時代（アムス柔道整復師養成学院）の同級生で、国家試験合格を目指して一緒に机を並べて頑張った先生です。いつもにこやかで穏やか、人望が厚く頼りがいのある先生です。

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

正 会 員 校 要 覧

令和6年4月1日現在

都道府県		学 校 名	所 在 地	TEL FAX
北海道 1校	1	公益社団法人 北海道柔道整復師会 附属北海道柔道整復専門学校	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西18-1-15	011-642-0731 011-642-8455
岩手県 1校	2	学校法人 龍澤学園 MC L盛岡医療大学校	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-3-4	019-652-1189 019-652-1198
宮城県 2校	3	学校法人 東北柔専 仙台接骨医療専門学校	〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室3-4-16	022-258-6222 022-259-7511
	4	学校法人 赤門宏志学院 仙台赤門医療専門学校	〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉33-1	022-222-8349 022-222-3797
福島県 1校	5	学校法人 平成医療学園 福島医療専門学校	〒963-8026 福島県郡山市並木3-2-23	024-933-0808 024-933-7887
群馬県 1校	6	学校法人 有坂中央学園 中央スポーツ医療専門学校	〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町21-16	027-253-1205 027-253-1230
埼玉県 2校	7	学校法人 大川学園 大川学園医療福祉専門学校	〒357-0016 埼玉県飯能市下加治345	042-974-8880 042-974-8884
	8	学校法人 呉竹学園 大宮呉竹医療専門学校	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1	048-658-0001 048-658-0005
東京都 11校	9	学校法人 花田学園 日本柔道整復専門学校	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1	03-3461-4740 03-3461-4733
	10	学校法人 呉竹学園 東京呉竹医療専門学校	〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12	03-3341-4043 03-3358-3976
	11	学校法人 敬心学園 日本医学柔整鍼灸専門学校	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-18-18	03-3208-7741 03-3208-6488
	12	学校法人 エイジェック学園 スポーツ健康医療専門学校	〒130-0026 東京都墨田区両国4-27-4	03-3846-5151 03-3846-5152
	13	学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-1-16	03-5605-2930 03-5605-2932
	14	学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1	042-637-3111 042-637-3112
	15	学校法人 創志学園 日本健康医療専門学校	〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-31-5	03-5835-1456 03-5835-1457
	16	学校法人 都築科学学園 関東柔道整復専門学校	〒190-0012 東京都立川市曙町1-13-13	042-529-6660 042-529-6665
	17	学校法人 小倉学園 新宿医療専門学校	〒160-0017 東京都新宿区左門町5番地	03-3352-6811 03-3352-6816
	18	学校法人 西田学園 アルファ医療福祉専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野1-7-8	042-729-1026 042-721-8411
	19	学校法人 常陽学園 東京医療福祉専門学校	〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-11-11	03-3551-5751 03-3551-5752
神奈川県 1校	20	学校法人 呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24	045-471-3731 045-471-3732
静岡県 1校	21	学校法人 森島学園 専門学校浜松医療学院	〒434-0038 静岡県浜松市浜名区貴布祢232-3	053-585-1333 053-585-1661

都道府県		学 校 名	所 在 地	TEL FAX
愛知県 3校	22	学校法人 米田学園 米田柔整専門学校	〒451-0053 愛知県名古屋市中区枇杷島2-3-13	052-562-1210 052-563-6495
	23	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 名古屋医健スポーツ専門学校	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-20-3	052-238-3463 052-238-3464
	24	学校法人 葛谷学園 中和医療専門学校	〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81	0587-23-5235 0587-23-5237
京都府 1校	25	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 京都医健専門学校	〒604-8203 京都府京都市中京区衣棚町51-2	075-257-6507 075-257-6488
大阪府 7校	26	学校法人 関西医療学園 関西医療学園専門学校	〒558-0011 大阪府大阪市住吉区荻田6-18-13	06-6699-2222 06-6609-2118
	27	学校法人 明治東洋医学院 明治東洋医学院専門学校	〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53	06-6381-3811 06-6381-3800
	28	学校法人 平成医療学園 平成医療学園専門学校	〒531-0071 大阪府大阪市北区中津6-10-15	06-6454-1500 06-6454-1550
	29	学校法人 森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校	〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4-1-8	06-6976-6889 06-6973-3133
	30	学校法人 履正社 履正社国際医療スポーツ専門学校	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東1-21-23	06-6305-6592 06-6305-1692
	31	学校法人 近畿医療学園 近畿医療専門学校	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満5-3-10	06-6360-3003 06-6360-3022
	32	学校法人 大阪滋慶学園 東洋医療専門学校	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-35	06-6398-2255 06-6398-2225
兵庫県 1校	33	学校法人 神戸創志学園 関西健康科学専門学校	〒659-0065 兵庫県芦屋市公光町1-18	0797-22-7221 0797-22-9333
岡山県 1校	34	学校法人 朝日医療学園 朝日医療大学校	〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2-7-1	086-255-2000 086-255-2010
広島県 1校	35	学校法人 I G L 学園 I G L 医療福祉専門学校	〒731-3164 広島県広島市安佐南区伴東1-12-18	082-849-5001 082-849-5115
香川県 1校	36	学校法人 大麻学園 四国医療専門学校	〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1	0877-41-2320 0877-41-2322
愛媛県 1校	37	学校法人 河原学園 河原医療福祉専門学校	〒790-0014 愛媛県松山市柳井町3-3-13	089-946-3388 089-946-4555
福岡県 4校	38	学校法人 福岡医療学院 福岡医療専門学校	〒814-0005 福岡県福岡市早良区祖原3-1	092-833-6120 092-833-6516
	39	学校法人 滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30	092-262-2119 092-262-8669
	40	学校法人 都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通4-3-7	092-738-7823 092-738-8584
	41	学校法人 国際志学園 九州医療スポーツ専門学校	〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2	093-531-5331 093-531-5332
佐賀県 1校	42	学校法人 九州アカデミー学園 九州医療専門学校	〒841-0027 佐賀県鳥栖市松原町1709-2	0942-81-3131 0942-81-3154
沖縄県 1校	43	学校法人 松正学園 専門学校沖縄総合医療学院	〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖4丁目1番-19号	098-875-8377 098-875-8366
合 計		43校		

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

学校理事長・校長・正会員名簿

令和6年4月1日現在

都道府県		学 校 名	理事長	校 長	正会員
北海道 1校	1	公益社団法人 北海道柔道整復師会 附属北海道柔道整復専門学校	高山 訓正	當瀬 規嗣	高山 訓正
岩手県 1校	2	学校法人 龍澤学園 MCL盛岡医療大学校	龍澤 尚孝	鈴木 一幸	松岡 靖
宮城県 2校	3	学校法人 東北柔専 仙台接骨医療専門学校	島谷 剛美	島谷 夕美	島谷 夕美
	4	学校法人 赤門宏志学院 仙台赤門医療専門学校	坂本 正憲	安齋 昌弘	坂本 正憲
福島県 1校	5	学校法人 平成医療学園 福島医療専門学校	岸野 雅方	飯島 正治	岸野 雅方
群馬県 1校	6	学校法人 有坂中央学園 中央スポーツ医療専門学校	中島 利郎	星野 寛一	中島 利郎
埼玉県 2校	7	学校法人 大川学園 大川学園医療福祉専門学校	奥村 千秋	平澤 淳	平澤 淳
	8	学校法人 呉竹学園 大宮呉竹医療専門学校	坂本 歩	齊藤 秀樹	八亀俊一郎
東京都 11校	9	学校法人 花田学園 日本柔道整復専門学校	櫻井 康司	櫻井 康司	櫻井 康司
	10	学校法人 呉竹学園 東京呉竹医療専門学校	坂本 歩	村上 哲二	齊藤 秀樹
	11	学校法人 敬心学園 日本医学柔整鍼灸専門学校	小林 光俊	岸本 光正	奥田 久幸
	12	学校法人 エイジェック学園 スポーツ健康医療専門学校	石原 征二	桑原 淳	桑原 淳
	13	学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校	浮舟 邦彦	関口 正雄	関口 正雄
	14	学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校	千葉 茂	山野 大星	千葉 茂
	15	学校法人 創志学園 日本健康医療専門学校	増田 哲也	清宮 克幸	大橋 博
	16	学校法人 都築科学学園 関東柔道整復専門学校	都築 慶子	都築 稔	都築 稔
	17	学校法人 小倉学園 新宿医療専門学校	小倉 基義	小倉 芳裕	永野 修
	18	学校法人 西田学園 アルファ医療福祉専門学校	西田 忠康	瀧 将仁	瀧 将仁
	19	学校法人 常陽学園 東京医療福祉専門学校	濱田 良機	殿村 康一	殿村 康一
神奈川県 1校	20	学校法人 呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校	坂本 歩	坂本 歩	村上 哲二
静岡県 1校	21	学校法人 森島学園 専門学校浜松医療学院	森島 康之	鈴木 康仁	鈴木 康仁

都道府県		学 校 名	理事長	校 長	正会員
愛知県 3校	22	学校法人 米田学園 米田柔整専門学校	米田 忠正	山本 啓司	米田 忠正
	23	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 名古屋医健スポーツ専門学校	竹本 雅信	木村 一郎	竹本 雅信
	24	学校法人 葛谷学園 中和医療専門学校	楠本 高紀	清水 洋二	清水 洋二
京都府 1校	25	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 京都医健専門学校	竹本 雅信	藤田 裕之	竹本 雅信
大阪府 7校	26	学校法人 関西医療学園 関西医療学園専門学校	武田 大輔	武田 大輔	廣岡 聡
	27	学校法人 明治東洋医学院 明治東洋医学院専門学校	谷口 和彦	三澤 圭吾	谷口 和彦
	28	学校法人 平成医療学園 平成医療学園専門学校	岸野 雅方	北野 吉廣	北野 吉廣
	29	学校法人 森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校	清水 尚道	清水 尚道	清水 尚道
	30	学校法人 履正社 履正社国際医療スポーツ専門学校	金谷 等	池尾 忠思	田中 雅博
	31	学校法人 近畿医療学園 近畿医療専門学校	小林 英健	清原 伸彦	藤原 光
	32	学校法人 大阪滋慶学園 東洋医療専門学校	浮舟 邦彦	太田 宗夫	古谷 圭司
兵庫県 1校	33	学校法人 神戸創志学園 関西健康科学専門学校	岡田 典世	住田 行志	岡田 典世
岡山県 1校	34	学校法人 朝日医療学園 朝日医療大学校	津島 伸章	草地 清志	津島 伸章
広島県 1校	35	学校法人 I G L 学園 I G L 医療福祉専門学校	永見 憲吾	本廣 淳範	本廣 淳範
香川県 1校	36	学校法人 大麻学園 四国医療専門学校	大麻 正晴	後藤 修司	大麻 正晴
愛媛県 1校	37	学校法人 河原学園 河原医療福祉専門学校	河原 成紀	石崎 学	水野 晋悟
福岡県 4校	38	学校法人 福岡医療学院 福岡医療専門学校	藤瀬 武	藤瀬 武	藤瀬 武
	39	学校法人 滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校	浮舟 邦彦	古谷野 潔	古谷野 潔
	40	学校法人 都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校	都築 仁子	大川 照明	大川 照明
	41	学校法人 国際志学園 九州医療スポーツ専門学校	水嶋 章陽	赤木 恭平	水嶋 章陽
佐賀県 1校	42	学校法人 九州アカデミー学園 九州医療専門学校	門司 誠一	井上 勇介	門司 誠一
沖縄県 1校	43	学校法人 松正学園 専門学校沖縄統合医療学院	松浦 幸男	鈴木 信司	鈴木 信司

賛助会員名簿

賛助会員団体名	代表者氏名	住 所	電話番号
株式会社南江堂	代表取締役社長 小 立 健 太	〒113-8410 文京区本郷3-42-6	03-3811-7140
医歯薬出版株式会社	代表取締役社長 白 石 泰 夫	〒113-8612 文京区本駒込1-7-10	03-5395-7616

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会教科書部会 名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	大宮呉竹医療専門学校	校長	齊藤 秀樹
部会長	明治東洋医学院専門学校	校長	三澤 圭吾
副部会長	大宮呉竹医療専門学校	教員	村澤 幸弘
部員	仙台接骨医療専門学校	教頭	佐藤 真希
部員	福島医療専門学校	教務部長	齊藤 慎吾
部員	中央スポーツ医療専門学校	専任教員	岡田 郁子
部員	スポーツ健康医療専門学校	副学科長	淵ノ上真太郎
部員	専門学校浜松医療学院	学科長	錦織 輝礼
部員	米田柔整専門学校	教員	生駒 慎二
部員	朝日医療大学校	学科長	横見瀬ゆかり
部員	河原医療福祉専門学校	教頭	鈴 武利
部員	福岡医健・スポーツ専門学校	専任教員	水元 宏哉
部員	九州医療専門学校	学科長	徳安 琢磨

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会教員研修等部会 名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年7月19日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	日本体育大学保健医療学部	教授	伊藤 譲
部会長	森ノ宮医療学園専門学校	教員	葉山 直史
副部会長	九州医療スポーツ専門学校	教務部長	桑野 幸仁
部員	日本工学院八王子専門学校	科長	有山 敦士
部員	関東柔道整復専門学校	学科長代理	加藤 稔啓
部員	東洋医療専門学校	副学科長	山田 靖典
部員	四国医療専門学校	専任教員	四宮 英雄
部員	専門学校沖縄統合医療学院	教員	登崎 正行

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会専科教員認定講習部会 名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	日本医学柔整鍼灸専門学校	相談役	奥田 久幸
部会長	大宮呉竹医療専門学校	臨床教育研究センター マネージャー	川口 央修
副部会長	平成医療学園専門学校	校長	北野 吉廣
部員	日本柔道整復専門学校	教務副部長	山口 竜彦
部員	日本健康医療専門学校	専任教員	新才 博紀
部員	新宿医療専門学校	専任教員	春日 貴之
部員	明治東洋医学院専門学校	専任教員	神内 伸晃
部員	近畿医療専門学校	教務部長	上野 雅洋

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	大宮呉竹医療専門学校	校長	齊藤 秀樹
部会長	東京呉竹医療専門学校	学科長	杉山 直人
副部会長	明治東洋医学院専門学校	教務部次長	秋津 知宏
副部会長	滋慶学園グループ	国家試験対策センター長	稲岡 隆輔
部員	附属北海道柔道整復専門学校	教務主任	野崎 享
部員	東京メディカル・スポーツ専門学校	学科長	小関 孝男
部員	横浜呉竹医療専門学校	科長	田中 秀和
部員	中和医療専門学校	学科長	太田 康晴
部員	関西医療学園専門学校	学生部長補佐	林 竜也
部員	履正社国際医療スポーツ専門学校	専任教員	桃井 俊明
部員	四国医療専門学校	学科主任	鹿庭 祥平

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 広報・調査委員会 委員名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	四国医療専門学校	理事長	大麻 正晴
委員長	東京呉竹医療専門学校	事務長補佐	廣木 智
副委員長	四国医療専門学校	学科主任	鹿庭 祥平
委員	仙台接骨医療専門学校	教頭	佐藤 真希
委員	仙台赤門医療専門学校	専任教員	亀井 啓
委員	日本医学柔整鍼灸専門学校	専任教員	片橋 るみ
委員	関西医療学園専門学校	次長	徳田 明也
委員	森ノ宮医療学園専門学校	学科長	外林 大輔
委員	関西健康科学専門学校	教員	宮崎 香織

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 柔道委員会 委員名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日より

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	関西医療学園専門学校	副校長	廣岡 聡
委員長	東京呉竹医療専門学校	科長補佐	早川 幸秀
副委員長	福岡医健・スポーツ専門学校	副校長	湊谷 知幹
委員	日本柔道整復専門学校	教員	赤羽 泰彦
委員	日本医学柔整鍼灸専門学校	教員	長坂 愛
委員	名古屋医健スポーツ専門学校	副校長	米女 博司
委員	I G L医療福祉専門学校	教員	埜 義徳

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 組織運営委員会 委員名簿

令和5年4月1日より令和7年3月31日まで

令和6年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	履正社国際医療スポーツ専門学校	副校長	田中 雅博
委員長	履正社国際医療スポーツ専門学校	学科長	辻井 宏昭
副委員長	東京医療福祉専門学校	学科長	伊藤 浩二
委員	M C L盛岡医療大学校	副主任	佐々木智章
委員	大川学園医療福祉専門学校	学科長	霞 孝行
委員	アルファ医療福祉専門学校	学科長	鈴木 忠慶
委員	明治東洋医学院専門学校	事務局長	藤井 義巳
委員	福岡医療専門学校	副校長	藤瀬 正
委員	福岡天神医療リハビリ専門学校	学科長	小川 勝

編集後記

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、お元気でお過ごしでしょうか。

2024年の夏は、オリンピック・パラリンピックが開催されます。

第33回オリンピック競技大会は、フランス・パリを中心に、7月26日から8月11日までの日程で、第17回パリパラリンピック競技大会は、8月28日から9月8日までの日程で開催されます。

また、オリンピック、FIFAサッカーワールドカップと肩を並べ、世界三大スポーツイベントの1つと称される、第111回ツール・ド・フランスは、6月29日から7月21日までの日程で開催されます。

2カ月以上の間、世界規模のスポーツの祭典が立て続けに開催されるフランスの夏は、熱気に包まれ、大いに盛り上がることでしょう。

さて、会報は本誌で第71号となりました。とくに節目ではありませんが、シリーズで掲載している2つの記事を遡ってみました。

「わが街の見どころ聞きどころ」は、会報第25号から始まり12年目、本誌で47回目の掲載の定番記事となっています。

2年目の「教員紹介リレー」は、本誌で7人目のリレーとなり、回を重ねるごとに定着してきたと感じています。

これらの記事だけではなく、これまで会報の発行にご協力いただきました会員校の多くの方々に感謝申し上げます。これから会報に執筆される方々におかれましては、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報・調査委員会 委員
四国医療専門学校 鹿庭 祥平

公益社団法人 全国柔道整復学校協会広報誌 **会 報** 第71号

令和6年7月 発行

発 行 所 公益社団法人 全国柔道整復学校協会
発 行 人 谷 口 和 彦

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6-2
丸神ビル1階

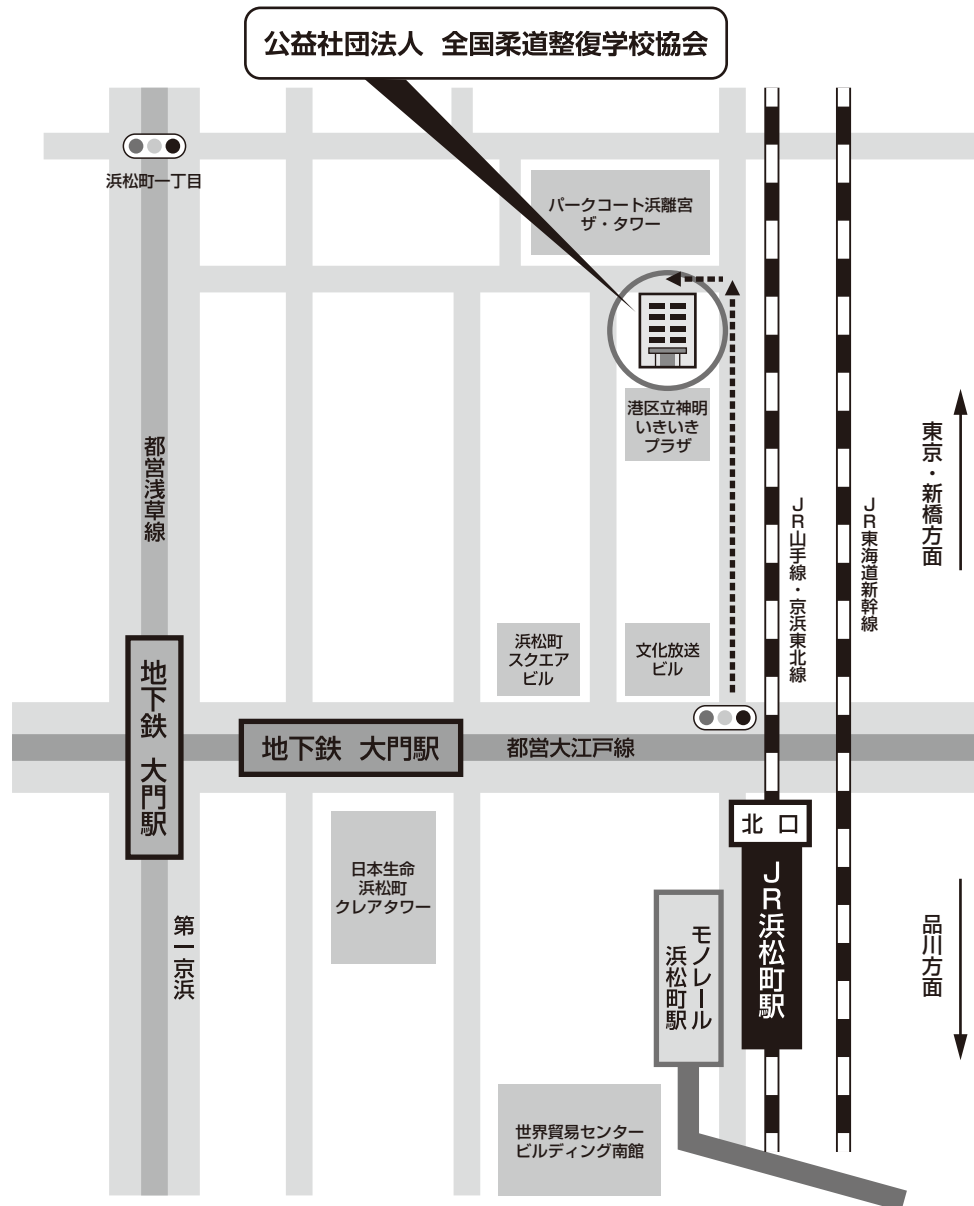
電 話 03-5405-1690

F A X 03-5405-3790

ホームページ <https://www.judo-seifuku.or.jp/>

印 刷 所 大和綜合印刷株式会社

案内図



アクセス

- ・ JR「浜松町駅」北口より徒歩5分
- ・ 都営地下鉄浅草線「大門駅」B1より徒歩5分
- ・ 都営地下鉄大江戸線「大門駅」B1より徒歩5分

所在地

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

〒105-0013

東京都港区浜松町1丁目6-2丸神ビル1F

TEL: (03) 5405-1690 FAX: (03) 5405-3790

専科教員認定講習会

公益社団法人 全国柔道整復学校協会



公益社団法人 全国柔道整復学校協会は、
専科教員資格取得のための講習会を
開催しています。

教員資格を取得するためには、
専科教員認定講習会の受講が必要です

来年度の詳細は、2025年3月に学校協会
ホームページにて公開の予定です



www.judo-seifuku.or.jp

THE JAPAN ASSOCIATION OF JUDO-SEIFUKU COLLEGES

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6-2 丸神ビル1階
TEL.03-5405-1690 FAX.03-5405-3790

